第２回
昭島のこれからを考える市民フォーラム
（ワークショップ）

実施報告書

令和３年２月

（株）地域総合計画研究所

目　次

１．実施概要 1
（１）開催日時 1
（２）開催場所 1
（３）テーマ 1
（４）進行方法 1
（５）参加対象者 1
（６）参加者数 1

２．コロナ禍におけるフォーラムの運営 2
（１）コロナ禍における運営方法 2
（２）ワークショップの狙いと運営 4
（３）会場準備 4

３．ワークショップの具体的な進め方 5
（１）テーマ１：10 年後の昭島市の姿を表す「将来都市像（キャッチフレーズ）」を考える.. 5
（２）テーマ２：「理想の将来都市像」を実現するため、重要となる施策を考える..... 6
（３）進行体制 6

４．資料 7
（１）事前送付資料 7
（２）ワークショップ説明資料 16

５．結果 29
（１）各グループ検討結果 29
（２）フォーラムの様子 34

６．参加者アンケート結果 35
（１）今回の市民フォーラムの進め方や内容について..... 35
（２）全体を通して心に残ったことやフレーズ 36
（３）その他、意見・感想 37

１．実施概要

（１）開催日時

令和２年 11 月 14 日（土）　午後 1 時 30 分から　午後４時まで

（２）開催場所

昭島市役所　市民ホール　（昭島市田中町１－17－１）

（３）テーマ

「これからの昭島市のまちづくりについて」

（４）進行方法

①　オリエンテーション

昭島市の総合基本計画等について説明

②　ワークショップ

昭島市のこれからについて、グループごとに討議し、討議内容を発表

（５）参加対象者

令和２年３月に予定していた市民フォーラム（新型コロナウイルス感染症により中止）に向けて無作為抽出した市民 1,000 人に募集をかけた際、参加応募のあった 36 名

（６）参加者数

18 名

２．コロナ禍におけるフォーラムの運営

（１）コロナ禍における運営方法

〇参加者は 20 名弱を想定。1 テーブル最大５名、４テーブルを設置し、十分に空間を確保する。
〇ワークショップ形式によるテーブル内での意見交換を行い、テーブル間での移動は行わない。
〇意見交換は要領よく短時間で行うよう努め、付せん等、参加者間でのモノの受け渡しは極力避ける。
〇全体に向けての発言が必要な際にはマイクを活用し、会場内で大声を出す機会を作らない。

■　テーブルの設置状況





【参考】東京都のコロナ対策ガイドライン

○窓口・受付等
・対面が想定される場所に、アクリル板や透明ビニールカーテンなどを設置し遮蔽
・利用者の列が想定される場合には、立ち位置の目印を付すなど行列の整理を行うことで混雑を防止

○入場時等における対策
・入場の列は間隔（できるだけ２ｍ）を空けるとともに、行列の整理や立ち位置の表示を行い、混雑を回避
・入場者にマスク着用の徹底を周知（ない方にはマスク配布に努める）
・非接触型機器などで入場者を検温し、発熱者は入場を制限
・入場口や施設内各所に消毒備品等を設置し、入場者の手洗いや手指消毒、靴底消毒の徹底を図る

○施設内における対策
・座席や利用場所の配置を工夫するなど、人と人との間隔（できるだけ２ｍ）を確保
・チラシや販促品等は、手渡しではなく据え置き方式で配布
・利用者に対し、手洗い・消毒に加え、大声の会話を慎むよう周知
・複数の人が使用する場所（トイレなど)、手や口が触れるようなもの（商品やコップ類など）をこまめに消毒・洗浄
・喫煙スペースがある場合、３密（密閉、密集、密接）にならないよう利用者数を制限し、利用者に周知

○ごみ
・ごみを回収する人は、収集の際に手袋・マスクを着用するとともに、手袋・マスクを外した後は、必ず石けんと流水で手を洗った上で、手指消毒を徹底

○トイレ
・個室ではない便器（男性用小便器など）の利用に当たっては、一つおきに使用するよう、利用者に対して周知

○感染者発生時に向けた対応
・濃厚接触者や来場者等に、後日連絡や情報提供ができるよう、来場者の氏名・連絡先（電話番号・メールアドレス等）について、既存の顧客リストや ICT 技術の活用等により把握に努める

（2）ワークショップの狙いと運営

○ワークショップで獲得したい成果は次の２点。

①基本構想の将来都市像（キャッチフレーズ）を具体的に作り出す

②将来都市像を実現するために重要（ポイント）と思う施策を抽出

○ワークショップではあるが、参加者間での付せん等の受け渡しは行わず、少ない話し合いでも内容が十分に理解でき、意見交換を行った実感を得られるような運営とする。そのため、参加者自らが考え、話した内容や取り組んだ作業が見える化できる方法（記述や投票方式）を検討する。

○全体ファシリテータの進行のもと、参加者が記述しながら考えることに集中できるような環境を整え、話し合い（討論）が主にならないよう各テーブルにファシリテータは配置しない。

○考えを記述するための時間を十分確保するため、時間配分は冒頭のオリエンテーションに 30 分、ワークショップの①に 1 時間 40 分、ワークショップの②に 20 分の、計 2 時間 30 分程度を想定する。

（3）会場準備

①　受付

○受付には案内員３名を配置。マスク・使い捨てビニール手袋を着用。

○１名は、着席するテーブルへの案内。

○１名は、非接触型体温測定機器にて入場者への検温を実施、発熱者に対しては入場を制限。

○１名は、入場者にマスク着用の徹底を周知（ない方にはマスク配布）、アレルギーなどの事情によりマスクが出来ない方への対応。

○設置する物

・消毒等の備品（アルコール消毒薬２～３個／マスク）

・事前送付資料（当日忘れてしまった方に配付）

②　会場

○コロナ対策を行ったテーブルの配置。（資料、筆記用具、名札の設置。）

○備品（マイク等）の除菌・清掃の徹底。

○室内の換気の実施。

３．ワークショップの具体的な進め方

（１）テーマ１：10 年後の昭島市の姿を表す「将来都市像（キャッチフレーズ）」を考える

○全体ファシリテータが、２つのステップを通じて基本構想の将来都市像（キャッチフレーズ）を具体的に作り出す流れを説明。

ステップ１：各自が思う（願う）昭島の将来の姿を、キーワードや簡単な文章で表現。また、その理由や思いを記述し、テーブルの皆さんに見えるよう貼り出す。テーブルの全員が書き終わったところで、順番に書いた内容や思いを説明。その後質問等意見交換。

ステップ２：テーブル内で思いが共有できたところで、出されたキーワード等を参考に、テーブルとしての昭島の将来の姿を簡単な文章にする。

○ステップごとに全体ファシリテータが声をかけ、それを合図に作業を進める。

※新型コロナ感染対策のため、各テーブルにはファシリテータを配置しない。各テーブルで進行役・書記役を決め（じゃんけん等）、検討を進める方式とする。

＜ステップ１＞

○全体ファシリテータがステップ１の進め方を説明。（①～④）

①資料を参考に、大事だと思うキーワードを選び、自分の言葉として付せんに記入。資料のモノと同じ表現でもよい。

↓

②表現したキーワードに対するコメントを付せんに記入。なぜこのキーワードが大事と思ったのか、簡単な文章で表現。

↓

③記入した付せんを模造紙に貼る。

↓

④全員が貼り終わったところで、書いたコメントについての思いをテーブル内で１人ずつ発表。

＜ステップ２＞

○全体ファシリテータがステップ２の進め方を説明。（⑤～⑧）

⑤テーブルとしての将来都市像（キャッチフレーズ）を作るために、使いたいと思うキーワード（ポイントとなるもの）を選ぶ。選んだキーワードには、それがわかるよう赤丸シールを貼る。

↓

⑥選んだキーワードを組み合わせながら、意見を出し合いキャッチフレーズの文章を作成。

↓

⑦複数の文章ができた場合には、その中からおススメを１つ選び、それがわかるよう赤丸シールを貼る。

↓

⑧テーブルごとに将来都市像（キャッチフレーズ）を発表。

（２）テーマ２：「理想の将来都市像」を実現するため、重要となる施策を考える

○テーマ１の検討も参考にしながら、将来都市像を実現するために重要（ポイント）と思う施策を選び、各自配付された赤丸シールを貼る。

（３）進行体制

○全体ファシリテータ　１名

○補助　２名（議論が滞っているテーブルがあれば支援、進め方への質問等あれば対応）

○タイムキーパー　１名

４．資料

（１）事前送付資料

■　資料１　（将来都市像（キャッチフレーズ）関係）

資料１（将来都市像（キャッチフレーズ）関係）

■　当日皆さんにやっていただきたいこと

１）10 年後の昭島市の姿を表す
「将来都市像（キャッチフレーズ）」を考える

今後の策定作業の参考とさせていただくため、本市民フォーラムでは、いくつかのグループに分かれて、次期総合基本計画の**将来都市像（キャッチフレーズ）**を考えていただきます。

事前に可能な範囲で下記**資料１－①　～　１－④**に目を通していただき、各資料の内容にかかわらず、**ご自身の考える「理想の将来都市像」**について、どんなものが良いか考えておいてください。

■　事前送付資料

資料１－①【昭島市　将来都市像の変遷】

（昭島市のこれまでの将来都市像をまとめたものです。）

資料１－②【将来都市像等　26 市比較】

（多摩26市の将来都市像等をまとめたものです。）

資料１－③【次期総合基本計画　将来都市像　職員検討案】

（職員が検討した将来都市像の案をまとめたものです。）

資料１－④【第１回 昭島のこれからを考える市民フォーラム実施報告書】

（公募市民により開催された第１回市民フォーラム（令和元年５月12日開催）にご参加いただいた皆様からの意見等をまとめたものです。）

【第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム】
資料1－①

昭島市 将来都市像の変遷

第一次 （昭和46年～55年）	豊かな生活と活気にあふれた住宅産業都市
第二次 （昭和56年～平成2年）	うるおいと活力のある生活都市
第三次 （平成3年～平成12年）	快適でふれあいのある豊かなまち
第四次 （平成13年～平成22年）	人・まち・緑の共生都市あきしま
第五次 （平成23年～平成32年）	ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま ～人も元気 まちも元気 緑も元気～

【第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム】
資料1－②

将来都市像等 26市比較

（※将来都市像を設定していない場合は、理念等のキャッチフレーズとした。）

	市名	将来都市像等（キャッチフレーズ）	備考
1	八王子市	人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子	理念等
2	立川市	にぎわいとやすらぎの交流都市 立川	
3	武蔵野市	都市の窓を開こう 新しい家族を育てよう 持続可能な社会をつくろう	理念等
4	三鷹市	「人間のあすへのまち」を求めて ～平和、人権、自治を基調として～	前文
5	青梅市	みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅 ―ゆめ・うめ・おうめ―	
6	府中市	みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち ～みどり・文化・にぎわいのある洗練された都市を目指して～	
7	昭島市	ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま ～人も元気 まちも元気 緑も元気～	
8	調布市	みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布	
9	町田市	一人ひとりが尊重され、輝きが持てるまちを目指す 地域の財（たから）を生かし、豊かさが実感できるまちを目指す 互いの信頼の上に、ともにつくるまちを目指す	理念等
10	小金井市	みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市	
11	小平市	躍動をかたちに 進化するまち こだいら 一緒と住みやすさを大切に さらに自立し活力あるまちの実現をめざします―	
12	日野市	ともに創ろう 心つながる 夢のまち 日野 水とみどりを受けつごう	
13	東村山市	人と人 人と緑が響きあい 笑顔あふれる 東村山	
14	国分寺市	魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分寺	
15	国立市	学び挑戦し続けるまち ともに歩み続けるまち 語い育み続けるまち 文教都市くにたち	
16	福生市	このまちが好き 夢かなうまち 福生	
17	狛江市	私たちがつくる水と緑のまち	
18	東大和市	人と自然が調和した生活文化都市 東大和	
19	清瀬市	手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬	理念等
20	東久留米市	"自然 つながり 活力あるまち"東久留米	
21	武蔵村山市	人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま	
22	多摩市	みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩	
23	稲城市	緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城 ともにつくろう 笑顔あふれる 元気なまち	
24	羽村市	ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら	
25	あきる野市	人と緑の新創造都市	
26	西東京市	やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ	理念等

【第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム】
資料1－③

次期総合基本計画 将来都市像 職員検討案

A	水と緑に恵まれ 多様性と意外性に富んだ 楽しいまち 昭島 ～住んで楽しい、働いて楽しい、学んで楽しい、訪れて楽しい まち～
B	多様性と意外性のある 水と緑の都市 昭島 ～住んで楽しい、働いて楽しい、学んで楽しい、訪れて楽しい～
C	優しさと うるおいの 快適都市 あきしま ～みんなが元気 みんなが主役 みんなが大好き あきしま！～
D	心はずむ 大好きなまち あきしま ～ 私の住むまち 水の澄むまち 夢とロマンと愛の棲むまち ～
E	人と地域が輝き ともに支え合い 水と緑にあふれる 住み続けたいまち あきしま
F	活気！水！笑顔！ 楽しさあふれる まち あきしま
G	みんなが笑顔でつながる やさしいまち昭島 ～サステナブルシティを目指して～
H	「守る・創る・育てる」大好きなまち あきしま
I	素敵！快適！好適！住宅都市 あきしま ～ 人を育み 緑をつなぎ 思いを紡ぐ ふるさと昭島を目指して ～
J	楽しく遊び 楽しく学ぶ 楽しく働き 楽しく暮らす 楽しさ4（四重奏） 大好きなまち あきしま

【第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム】
資料1-④

第１回 昭島のこれからを考える市民フォーラム
実施報告書

令和元年5月20日

株式会社創造開発研究所

実施概要

1．実施日時
令和元年5月12日（日） 14：00-17：00

2．実施場所
昭島市役所1階 市民ホール

3．実施目的
令和3年度（2021年度）からの新たな総合基本計画策定にあたり、総合計画とは何かについて市民の理解を深めると同時に、次期総合計画においての昭島市の将来像について、市民から積極的な意見をいただくことを目的とする。

3．内容：
1）開会 （昭島市役所 企画部総合基本計画担当課長 滝瀬 泉之）
2）挨拶 （昭島市役所 政策担当部長 萩原 秀敏）
3）第一部 （講師：株式会社創造開発研究所 代表取締役社長 齊藤 誠）
4）第二部 （同上）
5）参加者アンケート後，閉会

4．参加者28名（１名1部講演終了後退席） 【内訳：男性21名、女性７名（１名1部終了後退席）】

第一部講演

14：10-14：50

講師：株式会社創造開発研究所 代表取締役社長 齊藤 誠

講演タイトル：総合計画とは

講演概要：
・総合計画とは
・総合計画策定のプロセスと、総合計画の構成
・昭島市の第5次総合基本計画とは
・第5次総合基本計画策定の流れ、基本構想、施策の大綱

・地域の発展とは
・昭島市の人口推移
・人口減少がもたらされるもの

・昭島ブランドについて
・ブランド、ブランドの優位性とは
・様々なブランド
・地域ブランドと地域ブランドの重要性
・昭島ブランドと将来ビジョン（将来像）
・総合計画における将来都市像
・他地域の将来像例



第二部ワークショップ実施概要

15：00-16：45

ワークショップの目的
市民が自由に昭島市の将来像について意見を出し合い、次期総合基本計画策定の参考とする。また、市民の行政への参画意識と協働力を高める。

テーマ
10年後の昭島の姿を考える

テーマについて
明るい将来像を考える。10年後に、昭島市がこんなまちになっていてほしい、こんな自慢ができるまちになりたいという、ワークショップ参加者の「願い」や「目標」を出し合う。将来像を考える一般的な視点は昭島のこんな点を改善すれば、もっと安心してすみやすいまちになるという課題解決型である。それも良いが今回は私の理想とするまちはこんなまち、昭島もこんなまちになって欲しい、こんなことを市民みんなで実現したいなど理想追求の視点で夢や理想を出し合うことを大切にする。

ワークショップの方法
1．参加者27名を５～6人ずつの5チーム（ＡからＥ）に分けて実施。
2．カードブレインストーミング法を使用。

ワークショップの進行
1．チーム内で自己紹介と、各チームで進行役を決定
2．各自で昭島市の将来像をカードに記載
3．各自のカードをチーム内で発表
4．追加カードの記載、追加発表
5．出たカードをジャンルわけにする。
6．ベスト３を選ぶ
10年後の昭島市の将来像として最も相応しいものをチームごとに３つ選び出す。
7．各チームからの発表
各チームの進行役の方から、選ばれたベスト３を発表







第二部ワークショップ結果のまとめ１

●10年後の昭島市の将来像 各チームベスト３

・各チームのベスト３を見ると、「子育てしやすい」「ファミリーシティー」「子どもと老人が共生できる」「子どもが地域から愛情いっぱい育てられる」など"子育て"を重視した将来像が多かった。
・また昭島の水をテーマとした将来像、"子育て"と同じほど多かった。
・そのほかCチームとEチームから出された、「自転車のまち」は、他の地域と差別化ができるユニークな視点となるかも知れない。

【Aチーム】
1.創業できるまち
2.子育てしやすい
3.空に米軍機やヘリコプターが飛ばない静かな町にあきしまの水が世界的ブランドになる

【Bチーム】
1.最高のベッドタウン
2.ファミリーシティー
3.地下水100%で健康都市

【Cチーム】
1.自転車のまち（道の駅がある）
2.湧水ツアー
3.水族館

【Dチーム】
1.子供と老人が共生できる街
2.自慢の水が商品化され自由にみやげ物として買える
3.企業と地域住民の共生

【Eチーム】
1.自然が保たれている
2.どこでも自転車でいける（駐輪スポットが多い）。自転車の街（駐輪スポットがあちこちに。人と自転車と車の分離整備）
2.子供が地域から愛情いっぱい育てられる
＊2位は同点で２つ

第二部ワークショップ結果のまとめ２

●各チームから出た意見とジャンル

・短い時間の中で、各チームとも積極的に多岐にわたる意見が出された。
・ジャンルも環境、教育、地域コミュニティ、子育て、教育、文化など多岐にわたっている。男女共同参画や国際化などユニバーサル社会についての意見は殆どなく、関心が薄い分野かもしれない。
・ジャンル分けは短い作業時間の中で行なわれたため、うまく分けられていない部分もある。今後精緻化が必要。

Aチームジャンル
「自然」「人とのつながり 助け合い」「若者の活性化」「環境」「地域・場所・設備」

Bチームジャンル
「いやし・活力」「水・自然」「文化・スポーツ」「共生」「くじら」「福祉」「交通」「国際関係」「その他」

Cチームジャンル
「昭島の水」「食事」「くじら」「ブランド」「地域・コミュニケーション」「子育て」「社会」「交通」

Dチームジャンル
「商店街・商業」「子育て」「産業」「公共交通」「都市計画まちづくり」「観光・イベント」「地下水」「歴史遺産」「外国人」「市民活動拠点」「文化施設」「情報発信」「スポーツ」「基礎対策・その他」

Eチームジャンル
「観光」「水・自然」「環境（地域資源）」「教育」「文化」「子育て・教育」「福祉」「観光・交通」「その他」

第二部ワークショップ結果のまとめ３

●テキストマイニングによる単語出現状況

・Ａ～Ｅの5つのグループで出された将来像について、全ての言葉を言語処理すると、下記の通りの出現状況となった。
＊「水」という言葉はテキストマイニングでは出現しないため、全て「地下水」という言葉に変更した。
・名詞では「地下水」が一番多く、次いで「子供」が多かった。また「くじら」「子育て」「便利」「自然」「公園」「健康」「広場」「緑」などの出現が多かった。

名詞	出現頻度	動詞	出現頻度	形容詞	出現頻度
地下水	20	できる	14	しやすい	12
子供	11	住む	8	多い	11
くじら	7	あふれる	4	やさしい	4
安心	7	遊べる	3	若い	2
子育て	6	集まる	3	美しい	2
便利	6	使う	3	少ない	2
都市	6	知る	3	いやしの	2
昭島	6	増える	3	安い	2
街	6	飛ぶ	2	良い	2
自然	5	とりあげる	2	小さい	2
公園	5	働く	2	優しい	1
健康	3	にぎわう	2	大きい	1
広場	3	続ける	2	明るい	1
緑	4	守る	2	つよい	1
利用	4	訪れる	2	美味しい	1

＊データマイニング：文字情報を自然言語処理などで分析し、有用な情報を抽出する技術
上記テキストマイニングは、株式会社ユーザーローカルのフリーソフトを使用。

各チーム意見 Aチーム

【将来像ベスト3】
1.創業できるまち
2.子育てしやすい
3.空に米軍機やヘリコプターが飛ばない静かな町にあきしまの水が世界的ブランドになる

【出された意見】 ＊ジャンル分けは参加者による。また下記の出された意見については、記載内容のままとした。

自然
環境に優しい昭島
気楽に何処でもみんな挨拶のできる町に
気軽に自然で遊べるまち
植物多様性
水に笑顔が映るまち
産業と緑が共存するまち
空に米軍機やヘリコプターが飛ばない静かな町に
あきしまの水が世界的ブランドになる

環境
アスリートが多い
各所に小さな利用しやすい公園のある昭島市
災害につよい
食べ物が美味しい
長寿の
ゴミのない
火事がない
シルクをつむぐまち
歴史散歩の本にとりあげられる。人が集まる。
技術をつなぐまち
空が美しい
働きやすい
学力が高い
交通事故がない
道路渋滞のスッキリした町
医療の充実した

人とのつながり 助け合い
共助の
高齢者にやさしいまち
「いじめ」のない
やさしい
子育てしやすい
なごめる
自由に語り合える
健康な街昭島
障害者にやさしいまちあきしま
自治会にたくさんの人が参加できるような町
今までにない新しいコミュニティシステムが世界に評価される
思いやりのある昭島
結びつきが実感できる
○○が大学のコミュニティ論にとりあげられ有名になる

若者の活性化
活気ある雰囲気
創業できるまち
若い人口があふれている市
若者が基盤となる
大きく過巻くまち
明るい市昭島
笑顔があふれる
子供たちの声が飛びかう
活力がある

地域・場所・設備
移動が便利
町の近くに自由に利用できる施設がある市に
税金の少ない
東中神駅の階段・水とクジラのデザインをテレビで放映してもらう
昭和公園がオシャレになっている
公園が多い
児童館が東と西にあるといい
JRの駅がうつもある事が全国的有名
老人ホームがある市に

各チーム意見 Bチーム

【将来像ベスト3】
1. 最高のベッドタウン
2. ファミリーシティー
3. 地下水100%で健康都市

【出された意見】 ＊ジャンル分けは参加者による。また下記の出された意見については、記載内容のままとした。

いやし・活力
5つある駅前の特色あるまちづくり
青梅線の地下化、地上をメインストリートにする
安心して食事ができる町
住み続けられる街
活力あふれるいやしの街
安らぎの街
いやしの都市
誰かと一緒に住みたい都市
税金安い
企業誘致できる街

水・自然
武蔵野の雑木林を残す
段丘崖線の自然と歴史景観の保護
多摩川の自然を守りたい
地下水100%で健康都市
水を使った特産品
昭島の水（飲料水）を大切にするまち
自然いっぱい水の都

くじら
くじら都市
くじらをさらにシンボル化、ブランド化したい

共生
地域住民のつながりを大切にするまち
人々が活気をつくる都市
繁栄の絶えない街
住民参加のまちづくりができるまち
壁のない一体感のある街
若い人々がたずねるまち

福祉
子供でにぎわう町
安心して子育てできる町、昭島
老人にやさしいまち
子供が安心して遊べるまちづくり
保育と介護に富んだ街
子育てのしやすいまち
市民全体で子供を大切にするまち
ファミリーシティー

交通
公共交通機関充実
最高のベッドタウン

文化・スポーツ
教育のまち昭島
住んで良し、訪れて良し、魅力あふれる街
スポーツがさかんな町
芸術文化に触れられる施設がある
文化遺産を大切にするまち
レジャーができる町
お祭りの町

国際関係
ハブ・シティ
外国人の訪れるまち
国際化を目指すまち

その他
現状維持

各チーム意見　Cチーム

【将来像ベスト3】
1. 自転車のまち（道の駅がある）
2. 湧水ツアー
3. 水族館

【出された意見】 ＊ジャンル分けは参加者による。また下記の出された意見については、記載内容のままとした。

昭島の水
人口の増加でにぎあう昭島
人口増加は街を元気にする
昭島の水を全国にPRを
人間が生きる原泉　水をPRを
深層地下水をPR　市外から訪問者　住んでみたい人が倍増
住む人が昭島の水の良さをもっと知る→感謝
湧水ツアー

食事
わさび菜（上田？）（水がきれい）
アーケードづくり（道づくり）商店活性
小さいお店が増えて元気になるまち
地元野菜の食堂があってそこに通うと健康になる
アーケードのある商店街が増えて、人通りが増え、活気あるまち

くじら
クジラ祭りの活性化
町中にくじらがいっぱいいて、みんなが見学にきてくれるまち
昭島はアイランド　くじらがいっぱい泳ぐまち
くじら焼きが名物となって昭島ブランドになる
水族館

ブランド
世界遺産
絶景
花がいっぱい
有名な名産物
ホタルをとばそう
昭島名物商品づくり　農産物

地域・コミュニケーション
安心して暮らせる
散歩すると随所にお接待のコミュニケーションスポットがある
安心していつまでも住めるまち
遊びに来たい町づくり
祭りが多い
住むと健康になるまち
サークルがつくりやすい
音楽フェス
健康長寿の町
声をかけあう人々
スポーツが身近

子育て
子供が多い
子供が遊べる
子育てしやすい
子供がにぎわうまちづくり
学べる場が多い
欠点→長所　第4の教育
知能指数日本一

社会
日本一税金が安い
多様性
空き家の利用を考えよう

交通
自転車のまち（道の駅がある）
オンデマンドバスなどで市内のどこでもいつでも行ける
車がいらない
駅の活性化考えよう
道が安全

各チーム意見　Dチーム

【将来像ベスト3】
1. 子供と老人が共生できる街
2. 自慢の水が商品化され自由にみやげ物として買える
3. 企業と地域住民の共生

【出された意見】 ＊ジャンル分けは参加者による。また下記の出された意見については、記載内容のままとした。

商店街・商業
独自性のあるお店・サービスを出してくれる人・企業
Cafés
買い物やサービスが便利
商売繁盛のまち

子育て
子供を育むまち
気軽に利用できる子供の一時託児サービス（夜間・休日含）
子供と老人が共生できる街

産業
企業従業員が市内で結婚・子育て
企業と地域住民の共生

観光・イベント
たくさんのイベントが開かれている。イベント情報がまとまっている
AK48（for Girls）
町を誰もが知っている町になってほしい
テーマパーク

地下水
くじらジュース（by水）
崖線の緑と湧水の保全
深層地下水都市
自慢の水が商品化され自由にみやげ物として買える

公共交通
移動が便利
街を走るコミュニティーバスがもっとたくさん　便利になる

歴史遺産
世界遺産（寺社）
地に古くから住む方々がもっと転入者を素直にうけいれる
化石の出るまち
みんなが歴史を知っている

外国人
外国の方が来れる町に

都市計画まちづくり
拝島駅周辺が美しく緑多く整備される
空き家・空き店舗対策
小さくまとまっている
歩きたくなる散歩道・遊歩道・公園
安全な道路
安全で住みやすい
多摩川
都市計画

市民活動拠点
市民のための活動拠点のたくさんある街

文化施設
図書館の蔵書や開館時間が充実、自習スペース付属
図書館（分館も含め）の充実した街
博物館・美術館

基礎対策・その他
基地撤去

情報発信
使いやすい市ホームページ
マスメディア
市民便利帳がスマホのアプリで見られる

スポーツ
もっとスポーツができる町に
ボール遊びのできる公園・広場

各チーム意見　Eチーム

【将来像ベスト3】
1. 自然が保たれている
2. どこにでも自転車でいける（駐輪スポットが多い）。自転車の街（駐輪スポットがあちこちに。人と自転車と車の分離整備）
2. 子供が地域から愛情いっぱい育てられる

【出された意見】 ＊ジャンル分けは参加者による。また下記の出された意見については、記載内容のままとした。

観光
ラグビー、スポーツ、クライミングのまち
外からも人の来る名店がある（ex.西国分寺　くるみどコーヒー）
週末店長が多い（空き店舗活用）
市内から市外から人が集まる都市
ヒコーキのまち
地元ですごしたい街
ユニークなお店がたくさんある（個人店）　ex.グルクリー、コーヒー店
夕食を提供してもらえる
くじらがいたまち
昭和記念公園があるまち
景観・建造物など視覚的な象徴がある。都市として老若男女が伝えやすいまち

教育
大学誘致
100年以上続く学校がいくつもあるまち
教育に力が入っている
学校（高校・大学）が少ない
読書会、祭り、ライブ、サークルなど人の集まるスペース＆機会が多い

文化
よそ者も入りこみやすい
シェア文化のある町（広場で不用品交換、貸しくても暮らせる街、ペット情報交換）
伝統芸能の多いまち
喫茶店文化のあるある町→語り合い、居場所、広場

水・自然
開発と環境の共存都市
水の恵みに感謝しよう（水道水・水の景観）
水を守る（発ガン性のある農薬、危険な除草剤禁止）
地元でとれる安全な食材
自然が保たれている
せいたくな水が飲み放題なまち
水と広場の街
おいしい水が保たれている

子育て・教育
子供の声がにぎやかなまち
子供が地域から愛情いっぱい育てられる
子育て都市昭島
一時保護所設置
子どもを安心してみてもらえる
学区制緩和

福祉
お年寄りが元気なまち
高齢者も安心して住み続けられる
語らいのある孤独死のない街（街ベンチ・・吉祥寺、広場、お金を使わなくとも居場所がある）

環境（地域資源）
元気な企業の多いまち
働く場所が確保
企業誘致
住宅が確保しやすい
また戻ってきたくなる昭島（仕事・進学しても）
緑を生かした交流のある街（オープンガーデンの企画）

観光・交通
どこにでも自転車でいける（駐輪スポットが多い）
自転車の街（駐輪スポットがあちこちに。人と自転車と車の分離整備）
駅がたくさんあって便利なまち
買い物がしやすい

その他
申請主義から提案主義へ。（官民一体も）

アンケート結果１

１．今回の市民フォーラムの進め方や内容はいかがでしたか。

第１部　基調講演
①満足……21
②やや満足 ……5
③どちらともいえない ……0
④やや不満 ……0
⑤不満 ……0
⑥無回答 ……1

また、そう思う理由があればお聞かせください。
①分かりやすい解説であった。
①全国各地の例やデータに基づいた講演で非常に参考になりました。
①ブランドという考え方が計画を作成していく上で重要であることを知ることができたため
①講演の中で進め方まで説明してくださったので理解しやすかった。
①改めて市について熟考できました。先生の先導もはぎれよく気持ちよく参加しました。
①昭島をよりよいまちにするための基本的な計画の構成について学ぶことができました。
①他自治体の例示があり、よかったです。
①講師の方の話・進行がとてもよかった。他の市民の方の意見がいろいろ聞けて、とても有意義だった。
①ワークショップに向けての準備に役立った。
①講師の方のお話のされ方は、我々参加者の気持ちを楽にさせ、説得力のあるものでした。素晴らしかった。
①わかりやすかった
①非常に興味深い講演で、ブランド化の大切さを実感しました。
①ブランディングについて共感するところがあった。
①社会背景、昭島の現状と併せて説明して下さったので、説得力がありました。ブランディングによって付加価値をつけなければならないという認識ができたのは良かったと思います。人口の減少により、どのような問題が起きるのか。非常に参考になりました。
①スムーズに進行している状況を見て、臨機応変に対応して下さったのが大変動かりました。
①説明が分かりやすかった。
①（記入なし）×５

②ブランドの意味が分った。
②もう少し具体的な話が欲しい【事例】
②市内のより具体的なデータが欲しかった。
②講師の先生がスクリーンに手順を細かく映して、総合基本計画について説明してくださったので良かった。長すぎない内容で、導入としては良い印象だった。
②ブランドのあり方についての考え方、発想の仕方にヒントを得て良かったと思います。

⑥このような参加をして、行政の計画が一寸わかったように思う。内容が理解出来た。

アンケート結果２

第２部　参加者によるワークショップ
①満足……18
②やや満足 ……7
③どちらともいえない ……0
④やや不満 ……0
⑤不満 ……0
⑥無回答 ……2

また、そう思う理由があればお聞かせください。
①普段聞くことができない声を聞くことができたので、これから活かしていきたいです。
①幅広い年代の方々と市の将来像を考えることができたため。
①グループの照員の方々と自由な意見が出し合えた。
①リーダーもよく決まり、皆がきたんな意見もいえ考えをまとめることが出来ました。
①昭島に暮らし始めて間もなかったので、市民の方から昭島について学べる貴重な楽しい時間になりました。
①各世代で追究した将来像から、現状の課題、思想を学ばせていただきました。
①講師の方の話・進行がとてもよかった。他の市民の方の意見がいろいろ聞けて、とても有意義だった。
①人によって大切だと考えているテーマが違い、多くのニーズがあることを実感したため。
①皆さんの考えを聞いていくと、もっとアイデアがでてくるので色んな方とのワークショップはとても有意義でした。
①皆さんが率直に意見が出せ、よかったです
①思ってもみなかったアイデアが出た。
①様々な意見を聞くことができ、また多様な価値観に触れることができたので、非常に良い経験になりました。
①意見出しや交換がしやすい雰囲気が非常に良かったと思います。
①（記入なし）× ５

②参加者がもう少し多いと良かった。
②面白かった。つかみどころが難しかった。
②「ブランド」というところまで言葉を詰めるまでには至らなかった
②もう少し、コミュニケーション時間が欲しい
②昭島市の未来について話せたから。他の方の意見が大変参考になった。
②参加者の方々と和やかな雰囲気で交流できた。１つ１つアイデアについて十分に話し合う時間が持てず、やや浅い意見交換になった感がある。
②まったく知らない者同志が、昭島市のことについて、思っていることを考え、述べ合うことでお互い理解できて、昭島のことを良くしたいと気持ちがつながったこと

⑥ワクワクする街づくり、ドキドキする街づくりについて、自由に意見を交換できたこと。
⑥（記入なし）× １

アンケート結果３

２．今回の市民フォーラムで心に残ったことや次期基本構想・基本計画に反映させたいフレーズは何ですか。

○「笑顔あふれる」…笑顔は幸福、楽しさ、安心、健康等のうえに生まれるものであり、包括的な意味で魅力ある都市に必須と思う。
○よく勉強してみたい！！
○心に残ったことは、ワークショップにて「いいね」がキーワードになるということです。
○「あきしま」というブランドをいかに作り上げていくかという点が今後の昭島市を盛り上げるために必要であるということ。
○"住みたいまち"というフレーズが良いです。
○市に求める事を云う時間があるとよかったです。フレーズでは思いかびませんが、ますますふえる「老人」について、今までと違った思考をしなくてはと思います。
○昭島がより住みやすい、住みつづけたいまちになるように地域活性化に協力していきたいと思いました。
○「自然を保ち続けたい。」
○将来の人口減に備えた対応、子育て や教育に重要性がよく理解できた。
○ブランド化
○いろいろの発想に昭島の街づくりが楽しみだ
○できないではなく、やりたいことを考えることが大切だということを学びました。
○自転車のまち／昭島のまちがいつまでも元気でいられること
○自転車にフォーカスをあてた点がとても良いと思いました。
○自由な発想
○昭島のブランド化
○遊びに来たい町づくり
○地域コミュニケーション／ブランディングの創成
○水、子供に関する意見が多かったと思います。子供が多い地域は発展していくと思いますので、「育児」でしょうか。
○自転車をメインにする街づくりはかなり面白い発想であったと感じました。
○この市民フォーラムで市の基本的な考えが理解出来たので良かったと思う。
○「水」を大切に考えている人が多いこと
○ブランド化の事例
○"水"ブランド
○（記入なし）× ３

アンケート結果４

３．その他、ご意見・ご感想をお聞かせください。

○10年後のまちを考えるとき、重要なのは子育て世代の意見であると思われる。今回フォーラムでは若い世代、子育て世代の参加が少なく、そうした人たちの参加を促す必要があると思われる。（一時保育は用意できなかったのか等）。多様な人と一堂に会せる機会であり、自分にない意見を知り得る機会であることから、参加者同士の交流の時間をもう少し頂きたかった。
○事前の問題意識を深めて参加出来ると良かったと思います。
○非常に有意義な時間でした。ありがとうございました。
○楽しく、あっという間のフォーラムでした。大変ありがとうございました。
○本日は貴重な講演をありがとうございました。
○貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。
○多くの意見が出されること自体、有意義であった。今後もこのような場を多く設けていただければと思います。
○型にはまるものではなく、外部から一目置かれるようなフレーズを取り入れて欲しい（総合計画に）
○ありがとうございました。
○予想していたより活発で良かった。
○とても勉強になりました。昭島の将来を考えている若人が多いんだなと嬉しく思いました。
○楽しかった！！
○タイムスケジュールが事前に分ると良かったです。
○第一部の講演も非常に分かりやすく、聞き易い話し方、内容であったと感じました。
○今後、一般市民に対しても市の基本計画を理解してもらえるよう広報等で周知してもらいたい。
○大変夢の持てる企画でした。
○（記入なし）× 11

アンケート結果５

１．今後、このようなワークショップが企画されたら、参加したいと思いますか。

① 参加したい ……13
② テーマに興味があれば参加したい…13
③ 参加したくない ……0
④ その他 ……1

①いろいろな意見を聞いてみたいから、できれば参加したい。
②事前に勉強し、準備した上での参加が必要だと反省しています！！
④検討します。

２．１で③以外を選んだ方には、今後開催するワークショップ等のご案内をさせていただく場合があります。差し支えなければ、ご連絡先をお聞かせください。

○（記名）× 23

＊アンケートは、フォーラム実施後にアンケート用紙を各自に配布して、その場で記入。
集計とりまとめは昭島市役所担当者が実施。

■　資料２　（施策の体系関係）

資料２　（施策の体系関係）

■　当日皆さんにやっていただきたいこと

２）「理想の将来都市像」を実現するために、
　　市が実施する**施策**で特に重要と思うものについての意見交換

　市民フォーラムでは、いくつかのグループに分かれて、次期総合基本計画における**施策**について意見交換を行っていただきます。

　ご自身の考える「理想の将来都市像」の実現に向けて、どんな**施策**が必要か、または重要と思うか、**各自３つ程度**グループ内で発表していただくことを考えておりますので、事前に可能な範囲で下記**資料２**に目を通していただき、考えておいてください。

■　事前送付資料

資料2【次期基本構想　施策の体系（案）】

（次期基本構想における施策の体系をまとめたものです。（１）～（８）の８本の柱で、計37の施策を考えています。）

次期基本構想　施策の体系（案）

（１）安全で安心して 住み続けられるまち <施策 01>防災・危機管理体制の構築 <施策 02>交通安全の推進 <施策 03>防犯対策の充実	（５）環境負荷を低減し、 水と緑の自然環境を守るまち <施策 19>地球環境の保全 <施策 20>水と緑の環境の保全 <施策 21>ごみ処理の推進
（２）互いに支え合い、 尊重し合うまち <施策 04>コミュニティ活動の推進 <施策 05>健康支援・医療体制の充実 <施策 06>高齢者・障害者福祉の充実 <施策 07>社会保険制度の充実 <施策 08>地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備 <施策 09>多様性を認め合える地域の醸成	（６）快適で利便性に富んだまち <施策 22>公共交通網の充実 <施策 23>道路環境の整備 <施策 24>深層地下水 100%水道水の供給 <施策 25>下水道の維持管理 <施策 26>市街地の整備 <施策 27>公園の維持管理 <施策 28>住環境の保全
（３）未来を担う子どもたちが 育つまち <施策 10>子ども・子育て環境の整備 <施策 11>幼児教育・保育の充実 <施策 12>学校教育の充実 <施策 13>青少年の健全育成の推進	（７）生活を支え、 活力を生み出すまち <施策 29>地域振興と就労環境の充実 <施策 30>商工業の振興 <施策 31>都市農業の振興 <施策 32>観光まちづくりの推進 <施策 33>消費生活環境の充実
（４）文化芸術、スポーツの 振興を図るまち <施策 14>生涯学習の推進 <施策 15>図書館活動の充実 <施策 16>文化芸術活動の促進 <施策 17>文化財の保護・調査・活用 <施策 18>スポーツ・レクリエーションの振興	（８）計画実現のために <施策 34>健全で持続可能な行財政運営の推進 <施策 35>連携と協働によるまちづくりの推進 <施策 36>情報通信技術の活用によるまちづくりの推進 <施策 37>「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進

（１）安全で安心して住み続けられるまち

住み慣れた地域で生活を営み続けるために欠くことのできないものは、安全・安心な生活環境です。しかしながら私たちの生活は、地震や台風、局地的な豪雨、更には災害級の夏の猛暑など、自然災害の脅威に晒され、いつ何時その猛威に見舞われるかは予測できません。

更には、社会・経済活動範囲のグローバル化に伴って国外からもたらされる感染症やテロリズムの脅威、特殊詐欺をはじめとする犯罪行為など、私たちの生活を取り巻く危機は多様化しています。

こうしたあらゆる危機から市民を守り、安全で安心して住み続けられるまちづくりのために、次の施策を展開していきます。

＜施策 01＞防災・危機管理体制の構築

市民、自主防災組織、事業者等及び市が「自助・共助・公助」の責務と役割を果たす中で、相互の連携を強化し、平時から災害に備える「防災」とともに、迅速な情報発信を充実させることにより、災害等が発生した際に被害を最小限に抑える「減災」に努めます。

また、安全で安心な都市基盤、市街地の整備を進めるほか、インフラを含む公共施設の耐震性及び耐火性を確保するとともに、年々脅威を増している豪雨や台風への治水対策として雨水管等の整備を進めるなど、災害に強いまちづくりを推進します。

発災時には関係機関と連携し、要配慮者への状況に応じた適切な支援に努めます。また、被災者の医療救護においては万全を期すため、医療や防災等関係機関と密接な連携を図り、災害時の医療救護活動に関する体制の整備を進めます。

このほか、市民の安全・安心を守るという基本的かつ根源的な責務を果たすために、あらゆる危機に対応し得る、総合的な危機管理体制の充実・強化を図ります。

＜施策 02＞交通安全の推進

市内での交通事故を減少させるため、関係機関と連携し、安全で快適な交通環境の実現を目指すとともに、交通安全教育の実施や交通安全意識の啓発に努めます。

また、市民や関係機関等と連携した交通危険箇所の点検を実施し、改善に努めます。

道路や歩道、交通安全施設の維持管理を計画的に進め、安全・安心な交通環境を確保します。

＜施策 03＞防犯対策の充実

すべての世代が安全で安心して暮らせるように、防犯意識を高めるとともに、市民や地域、関係団体と連携し、防犯対策、防犯活動の取組を進めます

消費者や高齢者などが、手口が巧妙化し多様化する悪徳商法や特殊詐欺の被害にあわないよう、周知・啓発に努めるとともに、相談体制の充実を図ります。

関係機関と連携し、犯罪被害者支援や犯罪者の社会復帰への支援に努めます。

（２）互いに支え合い、尊重し合うまち

人口減少・超高齢社会がもたらす構造的な問題を克服し、市民の誰もが健康で豊かな生活を続けていくためには、地域で暮らす全ての人が自ら率先して互いに支え合い、助け合い、安心して暮らすことのできる地域社会の構築が必要です。

人生 100 年時代を迎えた現代にあっては、健康寿命を延ばし、いつまでも自立した生活を送れること、また一方で、在宅での医療・福祉の対応や社会保障制度の一層の充実も必要となっています。

また、成熟期を迎えた我が国にあっても、いじめや虐待、性別や国籍などによる偏見や差別といった問題を抱えています。互いが互いを認め、誰もが尊厳を持って生活できる共生社会の実現が求められています。

引き続き、互いに支え合い、尊重し合うまちづくりのため、次の施策を展開していきます。

＜施策 04＞コミュニティ活動の推進

市内には、市民が自主的に連帯して共通の目的を達成しようとする多くの市民団体があり、自治会・自治会連合会は、地域コミュニティの中心的存在として活動しています。

甚大な被害をもたらす自然災害が多発する昨今、共助の考え方にたった自治会をはじめとする地域での支え合い活動が重要となってきています。

市は、自治会など市民団体が災害時の対応や地域課題の解決に向け柔軟かつ有機的に連携し、地域の持っている力を出し合い解決に取り組む活動を支援します。

また、地域活動の担い手や、自主的かつ継続して活動できる団体を育成するとともに、新たなコミュニティの場づくりを支援し、地域の活性化や市民との協働によるまちづくりを推進します。

＜施策 05＞健康支援・医療体制の充実

市民一人ひとりが自らの健康状況を把握し、自ら進んで健康づくりに取り組む環境を整えるとともに、生活習慣病の重症化予防に向けた健康相談・健康支援の充実と自殺対策の強化を図ります。また、子育て世帯を中心として、ライフステージを通じた健康づくりの支援を進めます。

市民が安心して暮らせるように、医療等関係機関の連携の強化と情報の共有を進め、地域医療の充実を図り、身近な地域で、適切な医療をタイムリーに提供できる環境を整備し、また、医療資源の効率的な活用を図る中で、１次、２次、３次の各救急・救命医療を提供できる体制を整備します。

＜施策 06＞高齢者・障害者福祉の充実

関係機関やボランティア団体などが連携し、住み慣れた地域で安心して暮らして行くための支援と介護予防を一体的に提供できる体制を構築します。

障害の状態やその特性を踏まえた個別的な支援により、本人の希望と適性に応じ、就労や社会活動への参加が促進され、地域で自分らしく充実した生活が送れる環境を整備します。

相互に人権の理解が進み、本人の意思が尊重され、高齢者や障害者、認知症の方などが尊厳を持ち、決して差別されることなく、ユニバーサルデザインや心のバリアフリーによる地域における多様なバリアを軽減し、すべての市民が安心して、いきいきと暮らしていける地域をつくります。

＜施策 07＞社会保険制度の充実

社会保険制度の充実や支援施策の強化を国や都に要望します。

国民健康保険においては、公平・公正で安定的な財政運営を図ります。今後、更なる被保険者の増加が見込まれる後期高齢者医療保険においては、高齢者が安心して医療を受けることができる環境の維持・向上を図ります。

介護保険においては、地域包括ケアシステムの深化を目指し、各種施策の展開を図るとともに、高齢者の自立支援、要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現に努めます。

＜施策 08＞地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備

地域にある様々な主体が専門性と個性を生かし、つながり合って、地域の課題解決に主体的に取り組み、或いは社会的な孤立が生じないよう相互に支え合い、安心して暮らしていける地域福祉の体制を整備します。

公的なセーフティネットと地域のセーフティネットの連携により、安定的な暮らしと自立に向け、その人の状況に応じた、暮らしと仕事の支援を図ります。

＜施策 09＞多様性を認め合える地域の醸成

人種や性別、思考等の違いにかかわることなく、互いが互いを認め、その人権を尊重し、尊厳をもって暮らし続けることのできる地域社会の形成を目指します。また、増加している外国籍住民にあっても、互いの多様な文化や習慣を尊重するとともに、安心して生活が送れるよう生活の場面場面における支援を図り、多文化共生のまちづくりの推進を図ります。

職場・地域・家庭等の社会のあらゆる場における男女共同参画を進めるために、各種講座や意識啓発、相談、格差解消に向けた支援を実施します。

また、性的マイノリティなど性の多様性を理由とした人権侵害につながることがないよう、正しい知識の普及、偏見や差別の解消を目指した啓発を推進します。

（３）未来を担う子どもたちが育つまち

人口減少・超高齢社会がもたらす構造的課題の解決には、子どもたちを安心して産み育てられる環境づくりが必要です。核家族化の進展や就労形態の多様化が進む現代にあっては、妊娠・出産・子育て期の各ステージに応じた支援や、子育てしながら安心して働ける環境の整備など、社会全体で子育てを支える仕組みづくりが求められています。

また、子どもたちが健やかに育つ環境づくりには、義務教育期間における学校教育の役割が重要性を増すとともに、乳幼児教育・保育から学校教育に至るまでの系統的な子育て・教育環境の整備を進めていく必要があります。

日本の未来、そして昭島の未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくりのため、次の施策を展開していきます。

＜施策 10＞子ども・子育て環境の整備

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図ります。子育て家庭については相談・支援体制の充実、子育て親子の交流の場の整備など、安心して子育てできる環境を整備します。

子どもたちが性別や障害、生活困窮などにより夢や希望を阻害されることのないよう、配慮を要する児童や家庭への支援を行います。また、配慮を要する児童が社会で自立できるよう、各ライフステージと児童の特性に応じた総合的な発達支援の充実を図ります。

＜施策 11＞幼児教育・保育の充実

子育て家庭の多様なニーズに応じた教育・保育を提供するため、休日保育・一時預かり保育・病児保育など、幼児教育・保育の充実を図ります。

民間保育所等の施設を整備するなど、保育園入所待機児童の解消を図ります。

幼稚園や保育園と小学校との連携を図り、切れ目のない子どもの育成に努めます。

放課後に子どもたちが安全・安心に楽しく過ごせる居場所を提供します。

＜施策 12＞学校教育の充実

社会に開かれた教育課程という理念に基づき「カリキュラム・マネジメント(*注1)」を実現します。

「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」を目指し、児童・生徒の知・徳・体のバランスの取れた成長の実現を図ります。

輝く未来に向かって、主体的に時代の転換期を生き抜く力、他者との協調、人権・平和意識の醸成、国際理解教育及び異文化理解教育の推進を図ります。

インクルーシブ教育(*注2)システムを構築し、特別支援教育の充実を図ります。

学校教育施設及びICT等の教育環境の計画的な整備、維持管理を実施します。

子どもの健全な発育のため、安全・安心な学校給食を提供するとともに、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。

＜施策 13＞青少年の健全育成の推進

青少年の健全育成にかかわる地域活動の支援、関係機関・組織の相互の連携を推進します。また、青少年の事故や非行を未然に防ぐための相談・指導体制の充実とともに、引きこもり等の困難を抱えた青少年の相談体制の充実を図ります。

更には、青少年が自ら参加し活動する団体の育成を支援するとともに、小学生リーダーをはじめとした段階的な青少年リーダーの育成を図り、その活用の場の充実に努めます。

*注1　カリキュラム・マネジメント：
学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程（カリキュラム）を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していくこと

*注2　インクルーシブ教育：
人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み

（４）文化芸術、スポーツの振興を図るまち

人生100年時代にあっては、健康で価値ある人生を送るために、個々の人生の時間を充実させることが市民の切なる願いのひとつとなっています。子どもから高齢者までの各世代の知的欲求に応じ、誰もが生涯にわたり、「学び」や「学び直し」ができる環境の確保と自主学習などへの支援が求められています。

また、地域には先人から引き継がれてきた歴史的・文化的な資産として、有形無形の文化財が存在しています。これらを大切にすることは、地域を理解し、地域に愛着を持つことにつながります。このような文化財を保護・調査・活用するとともに、次代に引き継いでいくことが必要です。更には、健康づくりや生きがいづくりに向けたスポーツの普及・啓発も求められています。

こうした市民ニーズに応え、文化芸術、スポーツの振興を図るまちづくりのため、次の施策を展開していきます。

＜施策 14＞生涯学習の推進

市民の多様化するニーズや学習意欲に応え、自由な意思で学び、地域文化の振興と創造に寄与する学習機会の提供と拡充に努めます。

持続可能な地域社会の構築や多文化共生社会の実現のため、市民相互と地域のつながりを育て、地域課題解決に向けた学習活動を支援します。

社会教育施設相互の学習活動の交流を推進し、研究・学習発表の機会の充実を図ります。

＜施策 15＞図書館活動の充実

図書館を拠点とした市民の自主的な活動を促し、継続的な学びを支援します。

ライフステージに応じた学びや、多文化・多言語などに対応した幅広い分野の資料を収集し、提供します。

学校との連携を密にし、協力・支援を行うことにより児童・生徒の学びを応援します。

おはなし会や講演等、定期的なイベントを通して図書館に親しんでもらうことにより、読書習慣の定着を図ります。

＜施策 16＞文化芸術活動の促進

市民の自主的で多様な文化芸術活動の促進とそれらに積極的に参加できる環境づくりのほか、質の高い文化や世界的に著名な芸術作品を身近に鑑賞できる機会の提供に努めます。

文化芸術を通した国内外の地域との交流が促進されるよう努めます。

関係団体等と連携し、市内の芸術家の活動を支援するとともに、総合的な文化芸術施策の推進を図ります。

＜施策 17＞文化財の保護・調査・活用

歴史的建造物や文物、郷土芸能や祭事などの有形無形の文化財を保護・保存するとともに、調査・研究を進めることは、「ふるさと昭島」づくりの重要な視点として位置づけられることから、その推進を図ります。また、それらを内外に発信し、市内に人を呼び込む観光資源として活用を図るとともに、後世に継承するための支援を通して文化財保護の普及・啓発に努めます。

＜施策 18＞スポーツ・レクリエーションの振興

市民の誰もが生涯にわたって継続的にスポーツに親しみ、取り組むための支援と快適なスポーツ環境の提供に努めるとともに、地域スポーツを支える人材の育成やスポーツを通じた地域の絆づくりに取り組みます。

また、競技スポーツ団体の活性化やトップアスリートを目指す選手の支援、障害者スポーツの普及・啓発等に努めます。

（５）環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち

環境問題は自然環境のみならず、社会・経済の問題と相互に関係して複雑化し、世界的なリスクとなっています。そのため、地球環境の維持・保全という大きな課題について、国際社会ではSDGｓの中においても取組を進めています。本市としても、一自治体としてでき得る限りの地球環境の保全に努める必要があります。

併せて、本市の自然環境においては、豊かな水と緑のネットワーク（*注３）の維持・保全・活用を図り、同時に、環境負荷の低減を更に進めるため、次の施策を展開していきます。

＜施策 19＞地球環境の保全

省資源・省エネルギー型のライフスタイルの更なる普及、再生可能エネルギーの導入強化等を図りながら、地域における地球温暖化対策、気候変動適応の計画的な推進に努めます。

プラスチック・スマート社会の実現に向け、海洋プラスチック汚染の原因となっている使い捨てプラスチック等の削減に努めます。

持続可能な社会の実現に向け、環境教育の取組を強化し、日常生活における具体的な環境に優しい行動を発信します。

低炭素型の公共交通の利用促進を図ります。

＜施策 20＞水と緑の環境の保全

自然と調和した景観の保全に向け、水と緑のネットワーク等の地域環境資源の魅力発信と活用、地域での環境保全活動等の促進を図ります。

用水路や崖線の適正な維持管理を推進し、水辺と緑地環境の更なる整備を図ります。

地下水涵養の推進により、地下水源への負荷低減を図ります。

＜施策 21＞ごみ処理の推進

現在のごみ処理・リサイクル施設の適切な管理と整備を行いながら、将来を見据え、新たなごみ処理のあり方について、早急に検討します。

市民・事業者の自主的な３Ｒ（*注 4）活動を推進するとともに、これまで以上のごみの減量化・資源化を図ります。

*注３　水と緑のネットワーク：
多摩川・玉川上水・残堀川の水と緑、立川崖線の緑と湧水

*注４　３Ｒ（スリー・アール）

３Ｒは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の３つの英語の頭文字を表し、その意味は次のとおりです

① Reduce（リデュース）　使用済みになったものが、なるべくごみとして廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること

② Reuse（リユース）　使用済みになっても、その中でもう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再使用すること

③ Recycle（リサイクル）再使用ができずにまたは再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再生利用すること

（６）快適で利便性に富んだまち

昭島市が今後も良好な住宅都市として発展を続けていくためには、深層地下水100%の水道水を安定的に供給し続けるとともに、子どもから高齢者まで、また、障害の有無にかかわらず、誰にとっても快適で利便性に富んだまちづくりを進めていく必要があります。

一方、道路・橋梁・管路といったインフラは、老朽化が進み今後一斉に更新時期を迎えます。このため、計画的に都市基盤を整備していく必要があります。

公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化など整備に係る優先順位を明確にしつつ、市民の安らぎの場となる公園の維持管理を含めた快適な都市空間の整備や、現代社会における新たな課題である空き家等への対応を図るため、次の施策を展開していきます。

＜施策 22＞公共交通網の充実

公共交通における利便性の向上に向けて、混雑の緩和やユニバーサルデザインの導入など、引き続き関係機関に要請を行います。

また、超高齢社会における課題克服に向けて、移動や外出時の交通手段の確保に努めます。

＜施策 23＞道路環境の整備

道路等の適切な維持管理に務め、計画的な更新を行うとともに、高齢化の進展を踏まえた歩道の拡幅、段差の解消等を進めるほか、歩行者と自転車の混在を減少させることなどにより、人にやさしい道路づくりを進めます。併せて、歩行中の休憩場所やモニュメントの設置など、歩いて楽しい魅力ある歩道空間の整備を進めます。

また、都市計画道路については、機能性、安全性はもとより地域環境との調和にも配慮しながら、計画的な整備を促進していきます。

＜施策 24＞深層地下水 100%水道水の供給

市民と市の宝である深層地下水100%の安全でおいしい水道水を、将来にわたって安定供給していきます。

＜施策 25＞下水道の維持管理

公営企業会計により下水道事業の経営基盤を強化し、健全で安定的な運営を図ります。また、市民が衛生的で快適な生活を続けられるよう汚水管の維持管理に努めるとともに、浸水対策の観点から雨水管の整備及び維持管理に努めます。

＜施策 26＞市街地の整備

地域の特性に配慮した適切な都市計画制度を運用し、良好な市街地形成の整備・保全を図ります。また、大規模団地の建替え事業等の機会を捉え、周辺地域と一体的な整備を行い利便性・快適性の高いまちづくりを進めます。

＜施策 27＞公園の維持管理

子どもから高齢者までの多様なニーズに応え、誰もが快適に利用できる公園となるよう、施設の適正な維持管理を進めるとともに、市民とともに美化・清掃活動を行い、地域に根ざした親しみのある公園の保持に努めます。

＜施策 28＞住環境の保全

誰もが住みやすく、住み続けたいと思う良好な住環境の保全を図るため、航空機騒音などの公害対策、社会問題となっている空き家等への対策を推進します。また、良好な住宅地環境の保全やまちの美化、清掃に努め、美しいまちの実現を図ります。

（７）生活を支え、活力を生み出すまち

経済のグローバル化や情報通信技術の進化により、産業構造の転換が進む一方で、中小企業や商店街、都市農業においては、労働力や後継者不足など、深刻な課題を抱えています。

活力ある地域の構築と活性化に向けて、時代にあった商工業、都市農業の振興や、地域の独自性をもった観光まちづくりの推進のほか、産業間の連携に取り組むとともに、多様な雇用環境の変化や新たな消費形態に対応した勤労者や消費生活への取組を推進していく必要があります。このため、次の施策を展開していきます。

＜施策 29＞地域振興と就労環境の充実

商業、工業、農業、観光による産業間連携を促進し、地域の振興や地域の活性化を目指します。また、地域の産業特性を活かした「昭島ブランド」の構築に努めます。

事業承継や創業支援のために新しい事業者を生み、育てる仕組みを推進します。

また、市内企業等と連携したまちづくりに努め、職住近接の就労環境の確保を図るとともに、就労希望者と労働力を求めている企業とのマッチングを支援し、雇用の確保を図ります。

労働相談の充実を図るとともに、中小事業所で働く方と事業主の福利厚生事業の充実を図るため、関係機関の活動を支援します。

＜施策 30＞商工業の振興

ものづくり企業のみえる化を推進することにより、技術や商品、工業力を市内外に PR するとともに、工業が市民の身近な存在となるよう支援します。

また、新しい発想をもった若者の創業を支援するとともに、個店の魅力を発信するなど市民に愛されるお店づくりを支援し、併せて商店街の活性化を促進します。

＜施策 31＞都市農業の振興

農家の取組と農産物の紹介、経営の多角化をサポートすることなどにより、やりがいと収入の向上を図り、魅力的な農業経営を目指します。市民の「農」に触れ合う機会を増やし、市内農業・農産物への関心と理解、啓発に努めます。

＜施策 32＞観光まちづくりの推進

歴史的・文化的資産や、独自技術を公開している工場などの既存の観光資源を活用するほか、新たな観光資源の開発、産業間連携や広域的な連携による観光を推進します。また、ロケーションサービスなどを活用し、市のイメージや知名度の向上に努めます。

＜施策 33＞消費生活環境の充実

様々な商品が市場にあふれ、多様な商品購入形態が普及する中で、市民が商品知識や取引情報を活用して、人や社会、環境に配慮した適切な消費行動がとれるように施策の展開や情報の提供に努めます。

（８）計画実現のために

昨今、市民が求める行政ニーズは、多様化、高度化、専門化しています。また、人口減少・超高齢社会の構造的課題への対応も求められています。目まぐるしく変化する社会環境の中で、多種多様な市民ニーズに的確に応えるとともに、昭島の魅力を改めて再発見できるまちづくりを進めるため、行政の体制構築が求められています。

しっかりとした財政見通しに基づく健全で持続可能な財政運営と、情報通信技術を活用した効率的な行政運営を推進し、また、市民や事業者との参画・協働による幅広い公共サービスを実現していくために、次の施策を展開していきます。

＜施策 34＞健全で持続可能な行財政運営の推進

人口減少・超高齢社会の構造的課題の一つである社会保障費の増加や、公共施設等の維持管理などによる財政負担の増加、グローバル経済の動向による地域経済への影響などを分析し、適切な行財政の運営、持続可能な財政見通しによる各分野別計画の着実な推進を図るよう努めます。

＜施策 35＞連携と協働によるまちづくりの推進

市民の多様な公共ニーズに応えるため、関係機関や民間企業との連携を図り、効率性や専門的な各種ノウハウを取り入れ、行政サービスの向上に努めます。

また市民の声を幅広く聴き、ニーズを適確にとらえるとともに、行政への参画を推進し、まちづくりや施策の展開に努めます。

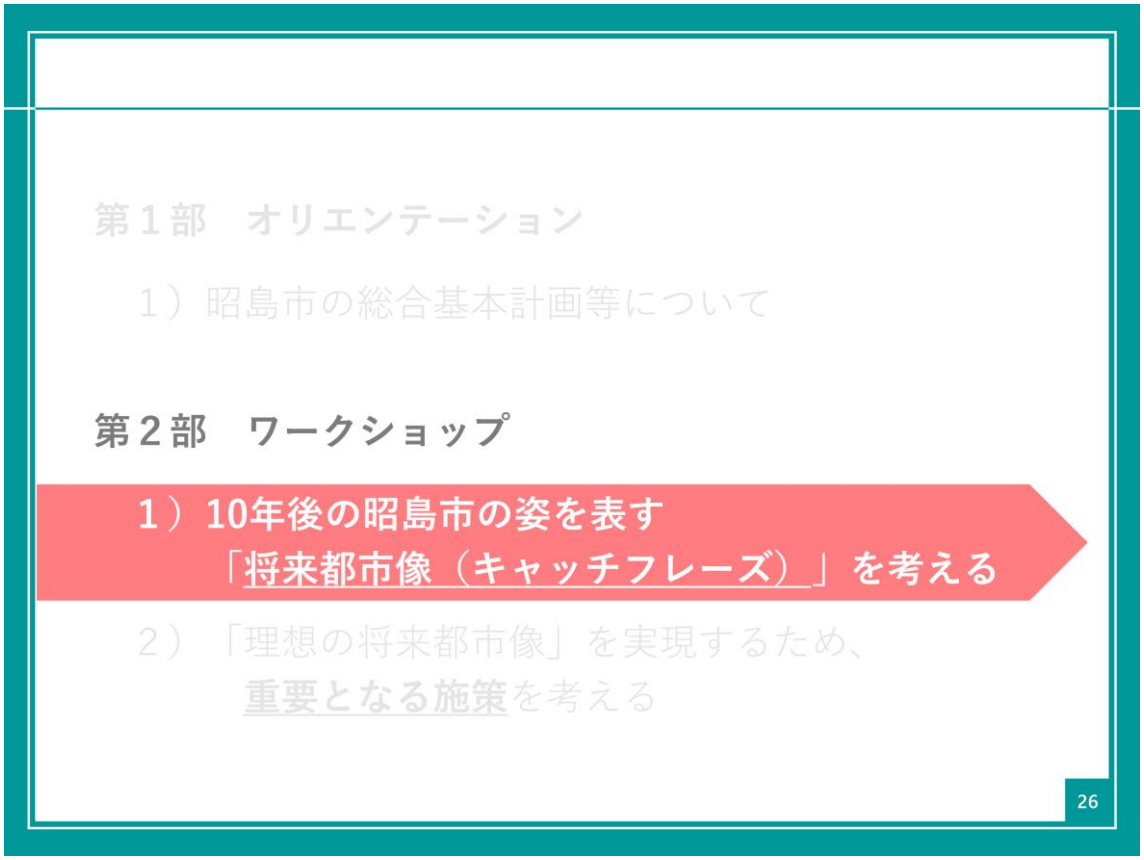
＜施策 36＞情報通信技術の活用によるまちづくりの推進

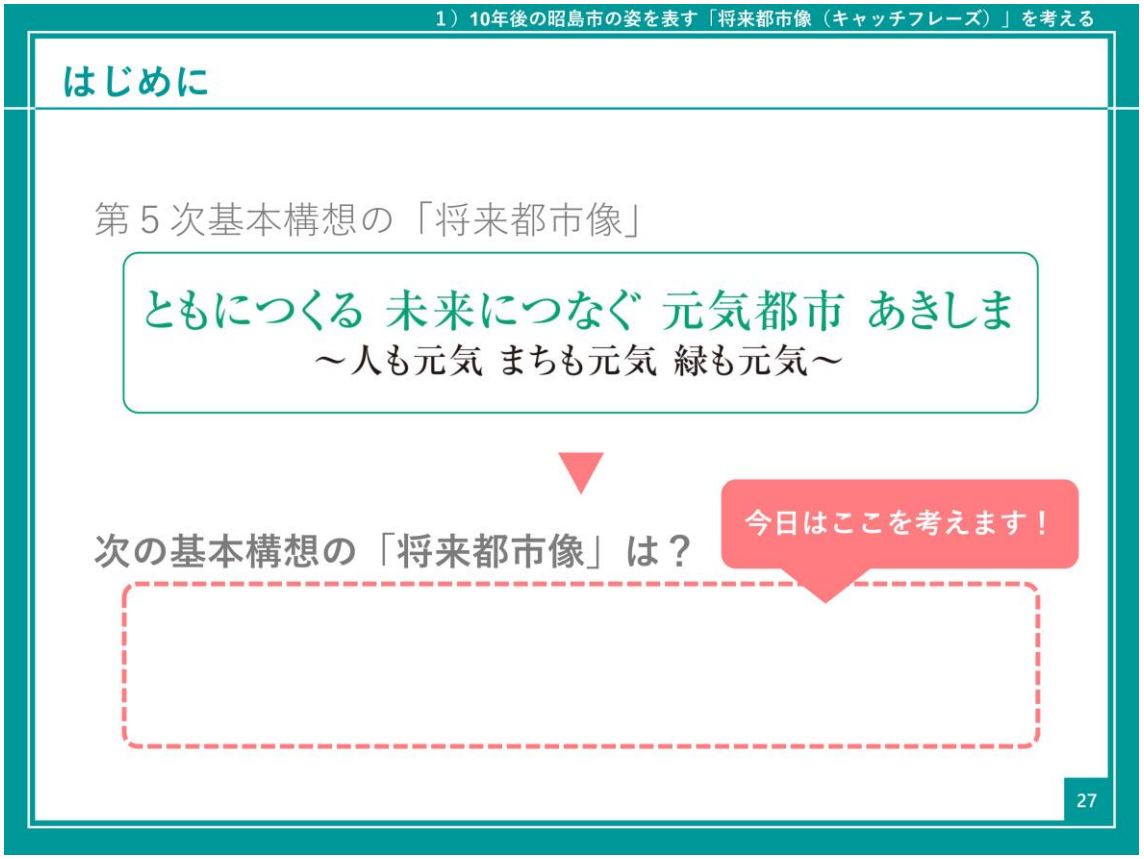
ICT、AI といった技術を活用して市民との情報共有や効果的な情報提供により、市民の利便性を高め、また市民参画を推進しつつ、併せて行政の透明性を確保するとともに機能的な行政運営を図る中で、Society 5.0 の実現に努めます。

＜施策 37＞「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進

誰もが笑顔で楽しく過ごすことができ、世代が変わっても「住んで良かった。ここで住み続けたい、生業を続けていきたい。」と思える「ふるさと昭島」として、誇りと愛着を持てるまちづくりを進めます。

（2）ワークショップ説明資料





はじめに

＜「将来都市像」を考えるにあたって＞

問題・課題を挙げ、その解決策を考えるより、
できるだけ理想を追求する視点で、

「10年後の昭島をこんなまちにしていきたい」

ということを意識できる場にしましょう

28

はじめに

5分

＜グループ内で自己紹介＞

- １人ずつ名札に記載した内容を紹介

＜グループの進行役・書記役を１人ずつ決める＞

- 自薦他薦、立候補、あるいはじゃんけんでも

【進行役】グループで話し合う際の進行

【書記役】模造紙への文案の記入、シール貼り

29

はじめに

＜注意事項＞

- 付せんへの記入は各自配られた黒サインペンを使う
  （使用後はお持ち帰りいただいて構いません）
- 自分が記入した付せんを他人に触れさせない
  （自分の付せんは自分で模造紙に貼ってください）
- ホワイトボードに置かれたマーカー・赤丸シールは、
  書記役の方だけが触る

30

はじめに

＜進め方のイメージ＞

【step1】10年後の昭島を表す短いキーワードを考える

「●●●」「▲▲▲」「■■■」「×××」…

▼

【step2】キーワードを組み合わせてキャッチフレーズを作る

「●●●」＋「▲▲▲」＋「×××」

31

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

7.5分

＜ピンクの付せんにキーワードを書く＞

- 「●●●（な）まち」の「●●●」を埋めるようなイメージで、10年後の昭島を表す短いキーワードを考え、ピンクの付せんに記入
- １つのキーワードを１枚の付せんに、１人５つ（付せん５枚）程度を目安に記入（それより多くても少なくても構いません）



32

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

7.5分

＜黄色の付せんにコメントを書く＞

- ピンクの付せんに記入したキーワードに対する簡単なコメントを、黄色の付せんにそれぞれ記入
- なぜこのキーワードと思ったのか、キーワードに込めた思いなどを、できるだけ簡単な文章で表現

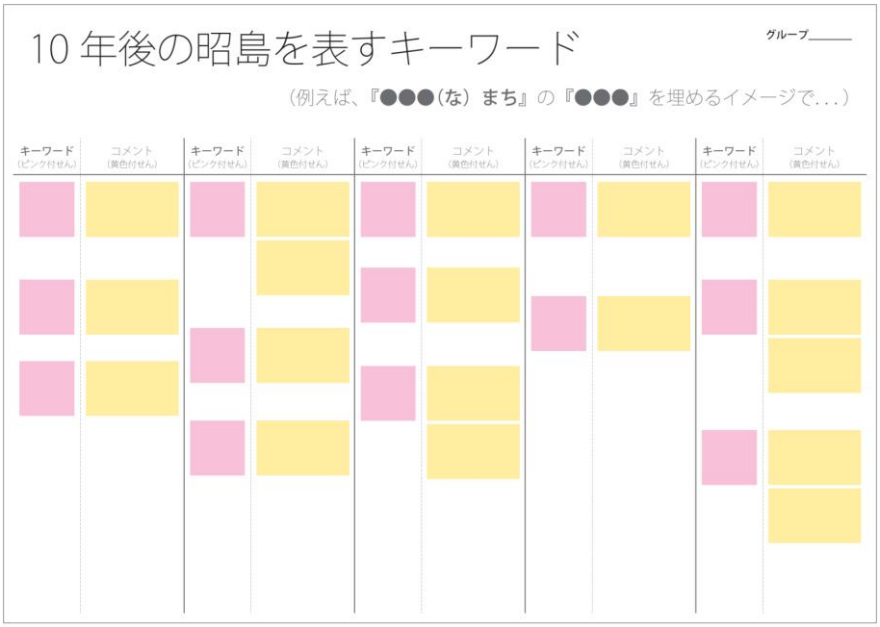


33

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

＜記入した付せんを１人ずつ模造紙へ＞

5分



34

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

5分

＜キーワードに込めた思いを伝える＞

- 皆さんが考えたキーワードとそのキーワードに対するコメントを、１人ずつ順番にグループ内で発表
- 付せんの大きさの関係で書ききれなかった思いなどがあれば、口頭で思っていることを説明
- 自由に意見交換

35

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

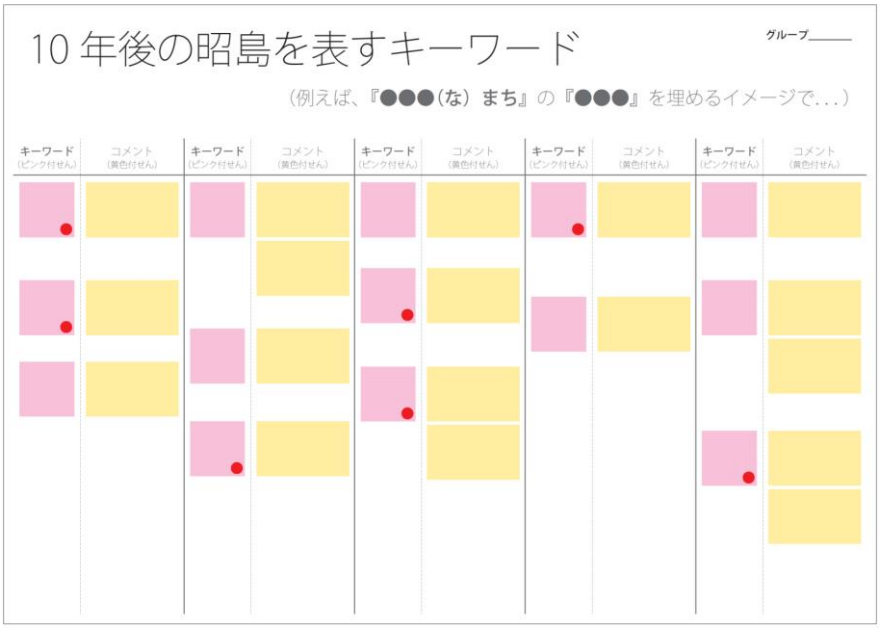
10分

＜キーワードを絞り込む＞

- グループとして、将来都市像のキャッチフレーズに使いたいキーワードを絞り込み（５～８個程度）、書記役はそのキーワードが書かれたピンクの付せんに赤丸シールを貼る

10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

＜キーワードを絞り込む＞



10年後の昭島市の姿を表すキーワードを考える

2.5分

＜キーワードを絞り込む＞

- 書記役は、手元のピンクの付せんに絞り込んだキーワードを記入（１つのキーワードを１枚の付せんに）
- この付せんは次のステップで使用します

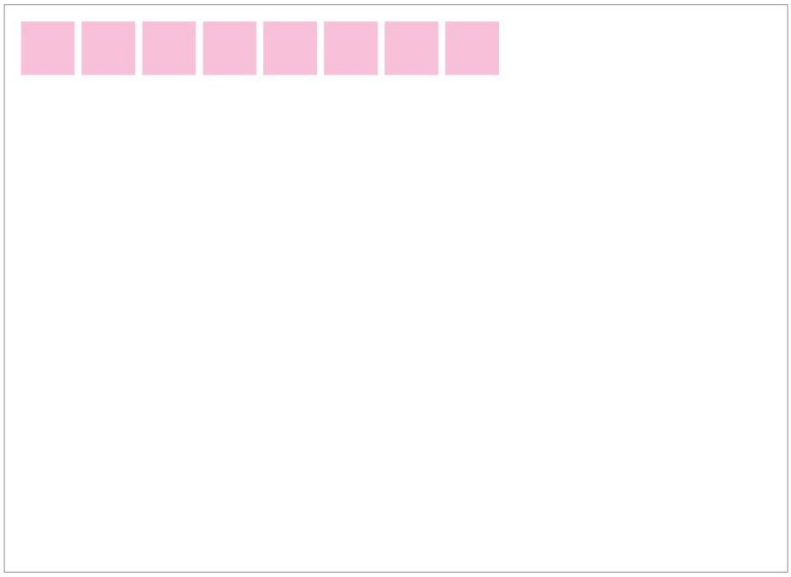


38

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

2.5分

- 書記役は模造紙を１枚めくり、白紙の模造紙にキーワードを書いたピンクの付せんを貼る



39

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

15分

＜大きな付せんにキャッチフレーズを書く＞

- 絞り込んだキーワードから気になったものを組み合わせながら、将来都市像のキャッチフレーズを考え、黄色の大きな付せんに記入
- １つのキャッチフレーズを１枚の付せんに（キャッチフレーズはいくつできても構いません）

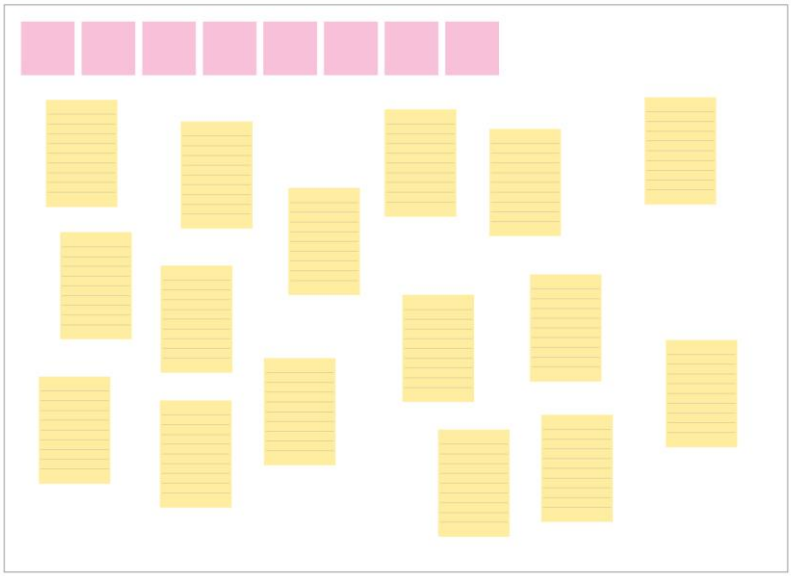


40

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

＜記入した付せんを１人ずつ模造紙へ＞

5分



41

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

10分

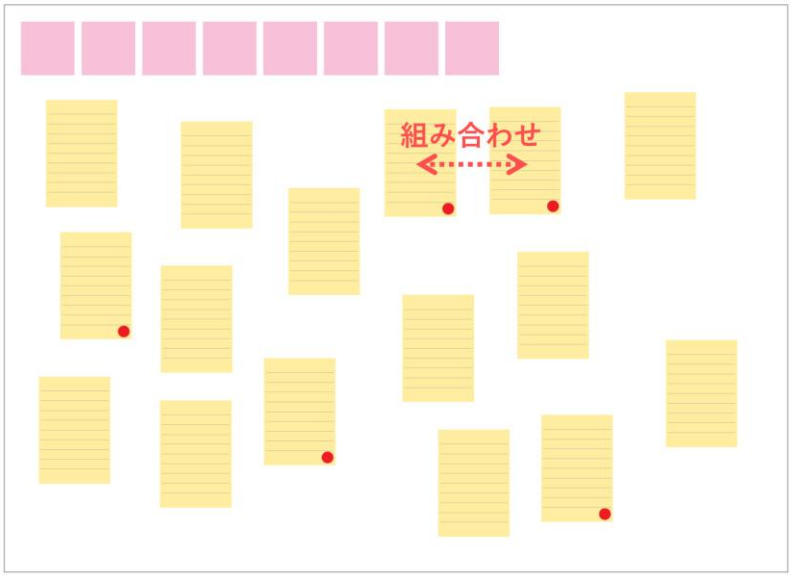
＜キャッチフレーズを絞り込む＞

- 皆さんが考えたキャッチフレーズから、よいと思うものを最大４つ（１つでも構いません）まで絞り込み、書記役はそのキャッチフレーズが書かれた付せんに赤丸シールを貼る
- 似ていたり、一緒にできそうなキャッチフレーズがあれば、それらを組み合わせてみるのもよい

42

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

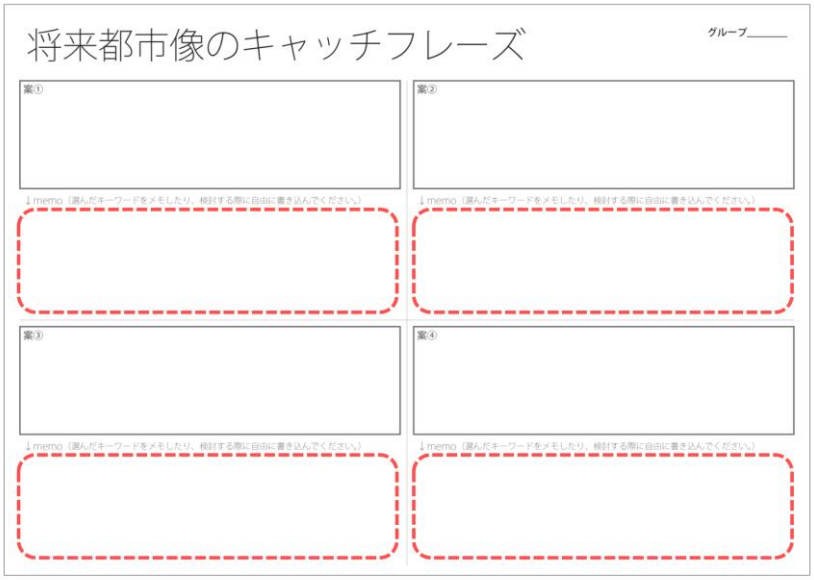
＜キャッチフレーズを絞り込む＞



43

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

- 書記役は模造紙を１枚めくり、『memo』の欄に絞り込んだキャッチフレーズをそれぞれ記入



44

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

10分

＜キャッチフレーズのブラッシュアップ＞

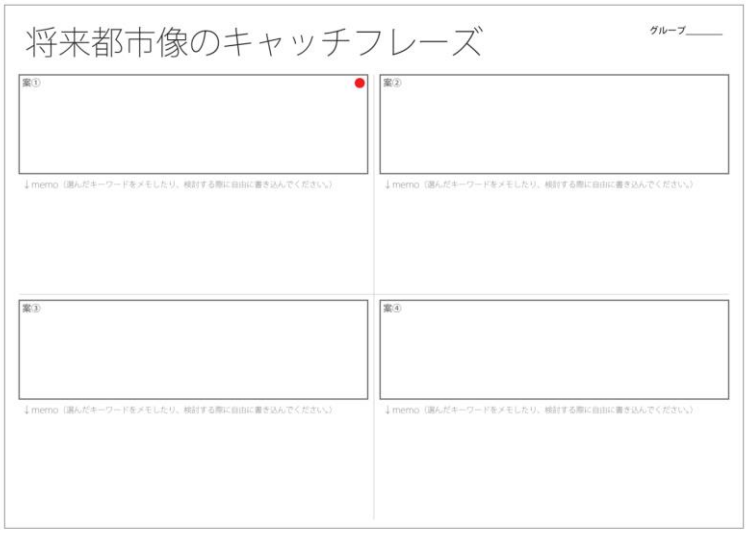
- 『memo』欄に書かれたキャッチフレーズをよりよいものにするアイディアはないか、意見交換
- 出された意見は、書記役が適宜『memo』欄に記入（大きなメモ帳として使ってください）
- ブラッシュアップされたキャッチフレーズは、書記役が『案①～案④』と書かれた枠内にそれぞれ記入（※ホワイトボードに置かれたマーカーで清書）

45

キーワードを使って将来都市像のキャッチフレーズを考える

5分

- 複数のキャッチフレーズができた場合には、
  その中でグループとして最もおススメのものを
  １つ選び、書記役が赤丸シールを貼る



46

各グループからの発表

15分

＜進行役より、以下の内容を発表＞

- 出された主なキーワード
- 将来都市像のキャッチフレーズの案

など

47

第１部　オリエンテーション

１）昭島市の総合基本計画等について

第２部　ワークショップ

１）10年後の昭島市の姿を表す
「将来都市像（キャッチフレーズ）」を考える

**２）「理想の将来都市像」を実現するため、
重要となる施策を考える**

48

重要と思う施策についての意見交換

10分

＜重要と思う施策を選ぶ＞

- 「理想の将来都市像」の実現に向け、どんな施策が必要か、または重要と思うか、各自８つ程度選び、１人ずつ模造紙に赤丸シールを貼る

49

重要と思う施策についての意見交換

＜赤丸シールを１人ずつ模造紙へ＞

将来都市像の実現のために重要な施策

グループ＿＿＿

（1）安全で安心して住み続けられるまち
- ＜施策 01＞ 防災・危機管理体制の構築 ●●
- ＜施策 02＞ 交通安全の推進
- ＜施策 03＞ 防犯対策の充実

（2）互いに支え合い、尊重し合うまち
- ＜施策 04＞ コミュニティ活動の推進 ●
- ＜施策 05＞ 健康支援・医療体制の充実
- ＜施策 06＞ 高齢者・障害者福祉の充実 ●
- ＜施策 07＞ 社会保険制度の充実
- ＜施策 08＞ 地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備
- ＜施策 09＞ 多様性を認め合える地域の醸成

（3）未来を担う子どもたちが育つまち
- ＜施策 10＞ 子ども・子育て環境の整備 ●
- ＜施策 11＞ 幼児教育・保育の充実
- ＜施策 12＞ 学校教育の充実 ●●
- ＜施策 13＞ 青少年の健全育成の推進

（4）文化芸術、スポーツの振興を図るまち
- ＜施策 14＞ 生涯学習の推進
- ＜施策 15＞ 図書館活動の充実
- ＜施策 16＞ 文化芸術活動の促進 ●
- ＜施策 17＞ 文化財の保護・調査・活用
- ＜施策 18＞ スポーツ・レクリエーションの振興

（5）環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち
- ＜施策 19＞ 地球環境の保全
- ＜施策 20＞ 水と緑の環境の保全 ●
- ＜施策 21＞ ごみ処理の推進

（6）快適で利便性に富んだまち
- ＜施策 22＞ 公共交通網の充実
- ＜施策 23＞ 道路環境の整備 ●
- ＜施策 24＞ 深層地下水 100%水道水の供給
- ＜施策 25＞ 下水道の維持管理
- ＜施策 26＞ 市街地の整備
- ＜施策 27＞ 公園の維持管理
- ＜施策 28＞ 住環境の保全 ●

（7）生活を支え、活力を生み出すまち
- ＜施策 29＞ 地域振興と就労環境の充実 ●●
- ＜施策 30＞ 商工業の振興
- ＜施策 31＞ 都市農業の振興
- ＜施策 32＞ 観光まちづくりの推進 ●
- ＜施策 33＞ 消費生活環境の充実

（8）計画実現のために
- ＜施策 34＞ 健全で持続可能な行財政運営の推進
- ＜施策 35＞ 連携と協働によるまちづくりの推進
- ＜施策 36＞ 情報通信技術の活用によるまちづくりの推進 ●
- ＜施策 37＞「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進

50

重要と思う施策についての意見交換

5分

＜施策に対する思いを伝える＞

- 選んだ施策に対する思いや、10年後に向けて特に大切にしなければいけないと思うことなどを、１人ずつ順番にグループ内で発表
- 発表された内容について気になったことなど、自由に意見交換

51

5．結果

（1）各グループ検討結果

①　将来都市像（キャッチフレーズ）

■第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム記録　【グループA】

キャッチフレーズ案①：	笑顔いっぱい！ すべての人が安心・安全に暮らせる優しいふれあいの街
キャッチフレーズ案②：	笑顔で一声！ 今昔の融合するふれあいのまち

＜出された意見＞

キーワード【ピンク付せん】	コメント【黄色付せん小】	絞り込み
移動が便利	・現在車で移動が多いのですが、それが出来なくなった時Aバス等	
老後も楽しく住める	・現在66才妻と2人、今後体が思うように動かなくなった時、また1人になった時こまらない	●
水がおいしい	・昭島に来て最初に「おいしい水」と感じた	
ふれあいのある	・学び・スポーツ・レジャー等でいろいろな人たちと交流できる	
米軍機がとばない	・夜8時過ぎてもすごい音でとんでいる	
つながり、ふれあい	・核家族化、高齢単身者の増加により、人と人とがふれあう	●
愛（Love）	・愛こそすべて♡ ・まちづくりをするのは人（市民） ・思いやる心は大事!!	
笑顔	・ネガティブな出来事が多いこの時代にこそ、笑顔の力は大きいと思う	●
安全	・犯罪のない ・行方不明とかもすぐ見つかる ・交通事故のない （すみません。まとまらず…）	●
健康都市	・公園や遊歩道の充実 ・健康診断の実施	
緑あふれる	・緑化事業の更なる推進 ・基準以上の緑地化を！	
人に優しい	・人の幸せは笑顔から ・互いに笑い合える優しい環境	
便利な街	・中神・東中神駅周辺商業施設誘致 ・役所施設の分舎化	●
多摩と言えば…	・出身有名人に大使依頼 ・PRイベントの実施 ・くじらや水のキャラクター化	
夢のまち	・子供から年寄りまで安心・安全に永住できる	
心がつながる	・古くからの住民との共生が出来る	
住みよい	・災害の少ない安心なまち	
笑顔あふれる	初対面で一声掛ける	
日常生活を便利に	・商店の減少 ・大型店の出現 ・車なしバスなしで移動が困難	
年寄から子供まで安全に	・歩行者道路、自転車専用道路、車道と整備していく ・年寄りも子供も車も安全に	
高齢者に役割を	・高齢者に役割 ・生きがいをつくってとじこもりを防ぐ、遠くの会場でなく徒歩けん内に	
市役所を街中へ		

キャッチフレーズ案（個人）【黄色付せん大】	絞り込み
笑顔いっぱい！すべての人が安心・安全に暮らせる優しいふれあいの街（昭島）	●
今昔の融合する笑顔とふれあいのまち 笑顔で一声	●
昭島の町 子供も大人も年寄も自転車も車も安心安全な道づくり	●
ふれあいのまち 笑顔あふれる安全なまち	
高齢者の生きがいづくり 元気で役立つ存在へなろう	

■第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム記録　【グループB】

キャッチフレーズ案①：	緑！ 天然水！ 活気！ 笑顔！ 楽しさあふれるまち　あきしま
キャッチフレーズ案②：	**レトロ・おいしい・楽しい** **緑と天然水がやさしく見守る住みよいまち　あきしま**

＜出された意見＞

キーワード【ピンク付せん】	コメント【黄色付せん小】	絞り込み
笑顔	・緑と水は昭島のキーワード ・そして笑顔で楽しいふるさと	
水	同上	
緑	同上	●
活気	同上	
楽しさ	同上	●
水に育まれ、水に強いまち	・水源のそばに住むメリットを活かし、防災上の弱さを克服することで安全安心な暮らしができる	
多くの人が集まる	・人口の維持は外からの流入の促進と流出の阻止が重要 ・「ここに居たい、居続けたい」という地域でありたい	●
活気が見える	・せっかくの活動の努力も知られないと埋もれてしまうので、活気を表に出せる機会を多く設けることが大事	
継いでいく	・人材の確保 ・活動の継続	
楽しい 便利	・映画館もあるし、おいしい個人の店もあるし、コンパクトで暮らしやすい ・ギュ－ッと凝縮した感じ	
飛行機が見える	・これはデメリットと感じる人もいると思うが、逆に飛行機やアーミーが好きな人には魅力なのかと思うようにした…	
かわいいくじらと住める	・アキシマエンシスができてくじらがもっと身近に感じるようになった ・かわいい街灯（つつじ道り）が気に入っている	
自然と利便性 バランスが良い	・都内（23区）に出るにも奥多摩や山梨方向の自然が多いエリアに出るにも位置がちょうど良い！！	●
公園が多い	・キレイで整備されている公園が身近にたくさんあり、遊び場に困らないので	
コンパクトなまち	・平坦な道が多く、自転車でも移動がしやすいので	
おいしい地下水	・地下水の水のおいしさでお店をOPENすると、よく話を聞くので	
居場所 大人も子供も	・コミュニティが充実 ・補助金の充実（月1では足りない）	●
天然水 井戸	・地下水よりも天然水の方がイメージが良い	●
自然由来	・環境に配慮した流れが世界的である	
昭和復刻	・便利な状況から不便であったが楽しいまち	●
脱酸素	・地球温暖化防止に向けたまちづくりが大切	
緑いっぱいのまち	・緑が多いと心が落ち着く	
水がおいしいまち	・水がおいしい ・元気が出る	
花がきれいな	・花がきれいにさいているとやさしい気持ちになる	
元気な子どもが多い	・元気な子どもが多いとたのもしい	
年寄りが住み安いまち	・高齢者がますます多くなるので	

キャッチフレーズ案（個人）【黄色付せん大】	絞り込み
緑！ 天然水！ 活気！ 笑顔！ 楽しさあふれるまち　あきしま	●
レトロを楽しむ おいしい・楽しい・住みよいまち　あきしま （※レトロ＝昭和町のこと）	●
緑と天然水がやさしく見守る 水に強い　暮らしやすい　人に優しいまち　あきしま	●
世代を越えて（→大人も子供も） 自然と共生し続ける（→水に強いを含む）	●
深層天然水はおいしい水道水であきしまの水としてのブランド。蛇口を開ければ30年ものの濾過した水がご家庭でも味わえます。	
市内にある昭和な場所を復元し、商店街の活性化を促す。 ・くじらロード商店街 ・江戸街道スナック街 ・昭和飛行機周辺地区 ・昭和町＝昭和	
昭和記念公園昭島口周辺の（東中神駅）商業計画においての昭島イメージを確立する。	
水がおいしく、緑が豊かで、大人も子どもも楽しく過ごせて、安らぎと利便性がある町	
大人も子供も楽しく自由に集まれる	
おいしい天然水　緑と人の共生都市　あきしま	
みんなの暮らしに寄りそうまち　あきしま	

■第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム記録　【グループC】

キャッチフレーズ案①：	夢と希望に満ちた　水と緑の　クリエイティブであったかな町　昭島
キャッチフレーズ案②：	

＜出された意見＞

キーワード【ピンク付せん】	コメント【黄色付せん小】	絞り込み
芸術	・個人的に芸術の勉強をしています ・もっとクリエイティブな人が増えてくれたらと思います ・これから一番必要なジャンルだと思います	
クリエイティブな人間	同上	●
水	・子供からお年寄りまで住みやすい環境なので、環境の良さをあげてみました ・水を環境の良さが生んだ市の商品だと思うのであげてみました	●
住みやすさ	同上	
ファミリー		
自然の心	・無理のない	
緑の町	・自然が多く体に良い	●
水・人・おもいやり	・地下水のおいしい水 ・思いやりがあると全てよい	
住み続けたい	・生活しやすい	
きれいな町	・汚れのない清掃された	
自慢は水	・ふるさと納税につかうほど自慢（テレビで紹介されていた）	
競うは		
希望力	・ふるさと納税で、シルバーが墓そうじがあった ・ユニークでなにかふくらむ感があっていいと思い、そこからうかんだ言葉（同じくテレビで知った）	●
文化力	同上	
人間力		
あったか 昭島だいすき	・市長の挨拶の締めが昭島だいすき（みんなで続けられたらいいと思います）	●
人と人とのふれ合いがすすむように	・昭島に住んで50年以上になったが、最近人と人との交流が少ない	●
多摩川の自然を大切に（崖線の保護）	・近頃多摩川が重視されなくなったと感じる	
各地域の公園の整備	・各地区の公園が今いち ・使われるように	
道路歩道の整備	・道路、特に歩道が未整備な処が多い	
緑地他の推進	・市全体の緑が少ないと見る	

キャッチフレーズ案（個人）【黄色付せん大】	絞り込み
夢と希望にみちた　水と緑の　クリエイティブであったかな町　昭島 ※D．（職員検討案）	●
あったか　昭島の水 人と人のふれあい 緑の町希望ある町	
緑の町とおいしい水 人と人とのふれあい多い 芸術あふれる 昭島だいすき	
水 市の地下水は市民にとって貴重な資源であり、有難くいただいている。この水にまず感謝したい。しかし、私共の心に、与えられている水にありがとうという心があるか。一説ではこの水を有料化して市の財政に反映という考えもある。	
緑の町 昭島全体を見ると、緑地帯を含めて、各家庭においても、生垣を含め、緑が少ないように思う。土地利用を含め難しい問題があるとは思う。	
自慢は水 競うは希望力・文化力・人間力 あったか　昭島だ～いすき	
人と人とのふれあいがすすむように　大人も子供も、兎に角街に人の夢がなくなってきている。人との交流に疲れを抱く人が多くなってきているのか、交流の場の構築が必要だ。	

■第2回 昭島のこれからを考える市民フォーラム記録　【グループD】

キャッチフレーズ案①：	あかちゃんから高齢者までみんな元気 ～水も緑も人も豊かで地域ふれあうまち～
キャッチフレーズ案②：	

＜出された意見＞

キーワード【ピンク付せん】	コメント【黄色付せん小】	絞り込み
人があたたかい町	・地域の方がとても元気であたたかい	
水がおいしい町	・井戸水がおいしい	●
元気な町	・市長が元気だから町全体が元気	●
明るい	・子供達が安心してすごせる様見守りがある	
ともに育つ	・となり近所が助け合い声かけをする	
高齢者が活発な	・若い人も高齢者もみんなで助けあえる	●
若々しいまち	・子どもが育ち易い	
笑顔があふれる	・自分達の知恵を出しあい自治会を活性化する	
水がおいしい	・水がおいしいのは基本の“キ”	
若者が輝く	・若い人が元気でいることがまちが元気になることにつながる	●
緑豊かな	・緑を守ることは人や動物等生態系を守ることにつながる	
住み続けたい	・いつまでも住みたいまちにしておくことが大事	
農地保全	・自分たちが食べるものは目に見える形がよいし子供達にもその成長経緯を知って欲しい	
豊かな	・人にも環境にもやさしい思いやり	
大好き	・住み良い地域づくりに	●
ふれ合い	・地域がつながっていく	●
元気ある／活気ある	・心豊かに幸せ感がある	

キャッチフレーズ案（個人）【黄色付せん大】	絞り込み
赤ちゃんから高齢者までみんなが元気な町	●
水がおいしい　地域とふれ合う町　大好き昭島	●
コミュニケーション豊かで　元気になれる　水・緑ゆたかなまち	●
若者が輝き　高齢者が活発な　元気な町	
子供も高齢者も元気にふれ合うあきしま	
若者が輝き高齢者が活発な町	
人と人のふれあいがあり　皆元気なまち　あきしま	
みんなの笑顔があふれ　ふれあいの多い大好きな町　あきしま	
みんな元気でつながる　豊かなあきしま	
水・緑・ふれあいあふれる元気なまち　あきしま	
水がおいしく　笑顔あふれる　元気な町	
みんな元気！大好きあきしま　水も空気もおいしいまち	

② 重要となる施策

施策	重要度（シールの数）				
	合計	A	B	C	D
＜施策 20＞水と緑の環境の保全	**10**	3	3	2	2
＜施策 04＞コミュニティ活動の推進	**8**	4	1	1	2
＜施策 05＞健康支援・医療体制の充実	**8**	4	1		3
＜施策 02＞交通安全の推進	**7**	4	2	1	
＜施策 12＞学校教育の充実	**7**		2	1	4
＜施策 01＞防災・危機管理体制の構築	**6**		4		2
＜施策 14＞生涯学習の推進	**6**	2		2	2
＜施策 26＞市街地の整備	**6**	2	1		3
＜施策 09＞多様性を認め合える地域の醸成	**5**			1	4
＜施策 16＞文化芸術活動の促進	**5**	1		2	2
＜施策 21＞ごみ処理の推進	**5**	1	2	2	
＜施策 22＞公共交通網の充実	**5**	3	1	1	
＜施策 24＞深層地下水 100%水道水の供給	**5**		2	2	1
＜施策 34＞健全で持続可能な行財政運営の推進	**5**	2	2	1	
＜施策 37＞「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進	**5**		2	3	
＜施策 03＞防犯対策の充実	**4**	2	1	1	
＜施策 06＞高齢者・障害者福祉の充実	**4**	1	1	1	1
＜施策 23＞道路環境の整備	**4**	3		1	
＜施策 28＞住環境の保全	**4**		3	1	
＜施策 13＞青少年の健全育成の推進	**3**	2	1		
＜施策 17＞文化財の保護・調査・活用	**3**	1	2		
＜施策 19＞地球環境の保全	**3**		2	1	
＜施策 27＞公園の維持管理	**3**	1	1	1	
＜施策 32＞観光まちづくりの推進	**3**	1	1		1
＜施策 07＞社会保険制度の充実	**2**			2	
＜施策 10＞子ども・子育て環境の整備	**2**			1	1
＜施策 15＞図書館活動の充実	**2**		1	1	
＜施策 29＞地域振興と就労環境の充実	**2**		2		
＜施策 31＞都市農業の振興	**2**		2		
＜施策 33＞消費生活環境の充実	**2**	1			1
＜施策 35＞連携と協働によるまちづくりの推進	**2**			1	1
＜施策 08＞地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備	**1**				1
＜施策 25＞下水道の維持管理	**1**				1
＜施策 11＞幼児教育・保育の充実	**0**				
＜施策 18＞スポーツ・レクリエーションの振興	**0**				
＜施策 30＞商工業の振興	**0**				
＜施策 36＞情報通信技術の活用によるまちづくりの推進	**0**				

（2）フォーラムの様子

滝瀬課長より開会宣言 	萩原部長より開会のあいさつ 
森田係長によるオリエンテーション 	ワークショップ① 
ワークショップ② 	ワークショップ③ 
ワークショップ④ 	ワークショップ⑤ 

６．参加者アンケート結果

（１）今回の市民フォーラムの進め方や内容について

第１部　オリエンテーション

①とても満足：５名／②やや満足：７名／③満足：５名／④やや不満：―／⑤不満：―／無回答：１名

■　上記の理由

①とても満足（５名）

・分かりやすく聞かせて頂き、内容理解出来ました。
・だれにでも分かりやすく、考えられていたと思います。
・普段話をする機会の少ない年代の方々と意見交換出来たのは有意義でした。
・わかりやすかった。
・進行役が上手でした。

②やや満足（７名）

・時間配分がわかりづらくちょっとまとまりづらかったが、メンバー的にまとまった話が出来た。
・今期の振り返りが聞きたかったです。
・事前に勉強してくればよかった！
・最初はわかりづらく、少しずつ内容について行けた。
・進行が単調で入りにくかった。全員が内容を理解しているわけではないので、もう少しかみくだいて説明が欲しかった。
・こういう場に参加させていただき感謝。市の計画への参画、本日会う方々と知り合え良い時を過ごさせていただきました。定期的に回数も増やし開催されることを願っております。つながりを作るためにも。

③満足（５名）

・基本計画、基本構想等を教えて頂き、勉強になりました。
・感じていた事が言えたので。
・わかりやすい説明でした。

無回答（１名）

・初めてのことでのみこめない。画面がみづらい。

第２部　ワークショップ

①とても満足：８名／②やや満足：１名／③満足：８名／④やや不満：１名／⑤不満：―

■　上記の理由

①とても満足（８名）

・良い意見を聞かせて頂き、生活に役立てたい。
・異なる意見を一つにまとめる作業は難しかったですが、色々な話があっておもしろかったです。
・昭島に住んで 40 年以上、今やふるさとです。少しでも役に立ててうれしく思います。ありがとうございました。
・初めてこのようなフォーラムに参加させて頂きましたが、皆さん昭島が好きな町だと思っていることや、昭島を大切に思っている事がよくわかって、とてもよかったです。
・若い方が一人入っていてくれました。やっぱり若い方と話すと、それだけで元気になります。
・皆が積極的で討論が進み良かった。

②やや満足（１名）

・チーム内で様々な意見が出ておもしろかった。様々な世代の方のお話が聞けて、なるほどなーと思うこと、学べる機会が頂けて良かった。あきしま・住んでるまちを意識して idea が出せて楽しかった。

③満足（８名）

・時間が少ないように感じました。
・もう少し時間がほしかった。声がききづらいところもあった（マスク、シールド）。
・マスクで声が聞きとりにくいので、討議に時間がかかった。
・おもしろかったです。
・終了近くになり、グループともなれる事が出来ました。
・もう少し共に語り合える時間がとれると良いと思いました。
・時間内でコミュニケーションを取るのは難しいと思いました。

④やや不満（１名）

・勉強になったが、私には 10 年という年数で 80 代のわたしより若い人の意見の方がよいのでは。

（２）全体を通して心に残ったことやフレーズ

・何とかまとまったという感じ。
・昭島って良い街だな♡って思いました。
・ふれあいを感じた。

・笑顔は人を幸せにする大切な物。改めて再確認出来ました。
・天然水、昭和復刻、レトロ
・将来の人口推移見通しはなかなかショッキングな内容でした。いかにこの予想を良い方にくつがえしていくかが重要な施策と感じました。
・地下水→天然水に言い換える。レトロという意見がありおもしろかった（昭和町のこと）。
・笑顔とコミュニティ（一声かける）→あいさつ♪
・キャッチフレーズができました。
・緑、おいしい水、住みよい町あきしま
・全員が課題に取り組んでいる熱意
・お水
・クリエイティブ
・昭島愛
・昭島市民が自分たちの町についての「愛」を強く感じられた。⇒大好きな町
・大好き、つながり
・水・緑・ふれあい

（3）その他、意見・感想

・やったというスタイルで終わらせないで、20 名たらずと終わらず、もっと広く市民に聞くべきである。
・このような貴重な機会をありがとうございました。自分たちが住む街のことを真剣に考える機会はなかなかないので、色々と考えるきっかけとなりました。
・また参加したいです！
・当市は昭島の名称から、昭和のイメージがある（昭和記念公園、昭和町、昭和飛行機）ため、レトロを前面に出し、楽しめる町づくりを、これからの 10 年の施策として考えたいと思います。
・第５次の基本計画に対しての達成度合を知りたいと思います。最初のオリエンテーションに含めてもらえると良いと感じました。安全に配りょした形で開催していただいてありがとうございました。
・ふせんのアイディアも、ぜひ 1 つの意見として参考にして頂けたら嬉しいです。子供も無料で預けることができて、プチリフレッシュになり楽しめました。
・10 年後の昭島を考える事ができました。
・昭島の未来を考えるフォーラムとして、とてもよかったです。
・又、来たいと思いました。
・内容にもよりますが、また何かあれば参加してみたいと思いました。
・①夢と希望に満ちた水と緑のクリエイティブであったかな昭島／②笑顔いっぱいすべての人が安心・安全に暮らせる優しいふれあいの街
・全体的にかけ足でしたが初めて顔を合わせるメンバーでしたので致しかたないかとも思いました。